参考資料

1. 医療費の基礎集計

(1) 医療費の状況

平成30年度から令和4年度におけるレセプトデータを対象とし年度別に分析します。令和4年度を平成30年度と比較すると、一カ月平均の被保険者数は、平成30年度より1,564人減少しており、医療費は平成30年度より6億4,781万円減少しています。また、一カ月平均の患者数は、平成30年度より1,776人減少しています。

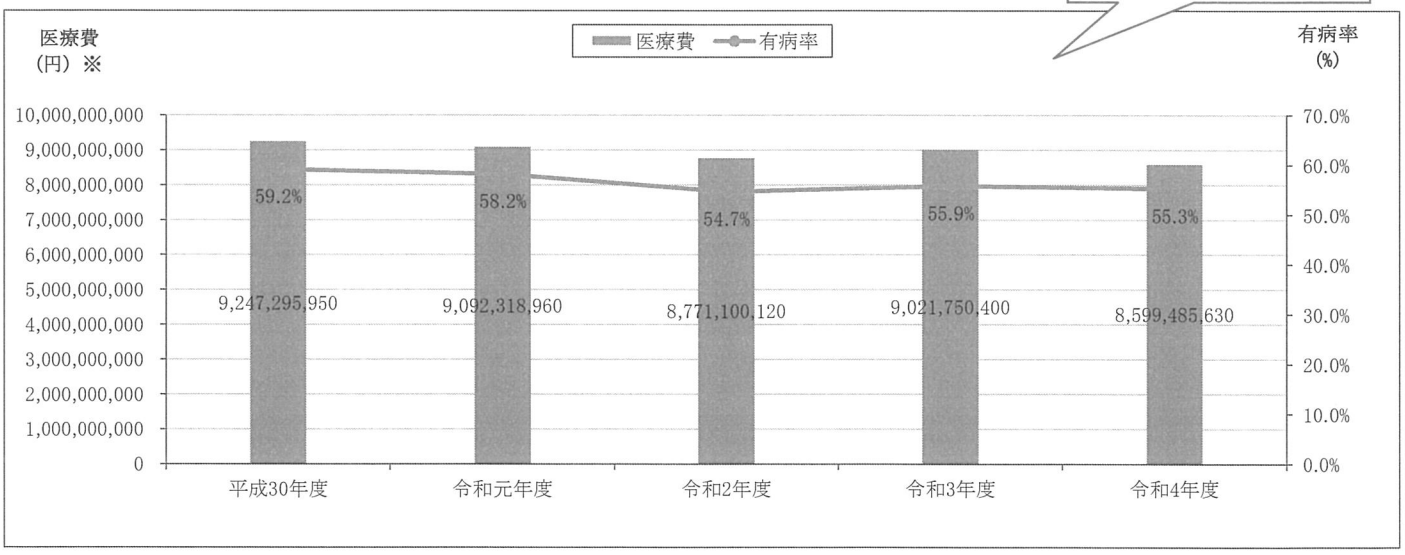
図表66. 基礎統計(平成30年度～令和4年度)

			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
A	一カ月平均の被保険者数(人)		23,726	23,110	22,940	22,825	22,162
B	レセプト件数(件)	入院外	244,663	235,518	214,504	220,641	213,622
		入院	6,576	6,133	5,559	5,625	5,220
		調剤	139,844	135,833	128,928	132,901	129,825
		合計	391,083	377,484	348,991	359,167	348,667
C	医療費(円) ※		9,247,295,950	9,092,318,960	8,771,100,120	9,021,750,400	8,599,485,630
D	一カ月平均の患者数(人) ※		14,042	13,456	12,555	12,748	12,266
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)		389,747	393,441	382,350	395,256	388,036
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)		23,645	24,087	25,133	25,119	24,664
D/A	有病率(%)		59.2%	58.2%	54.7%	55.9%	55.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成30年4月～令和5年3月診療分(60カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としています。
※医療費…レセプトに記載されている請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。
※一カ月平均の患者数…同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人として集計。

医療費、有病率共に減少傾向にあります。

図表67. 医療費及び有病率(平成30年度～令和4年度)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成30年4月～令和5年3月診療分(60カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としています。
※医療費…レセプトに記載されている請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

(2) 高額レセプトの件数及び割合

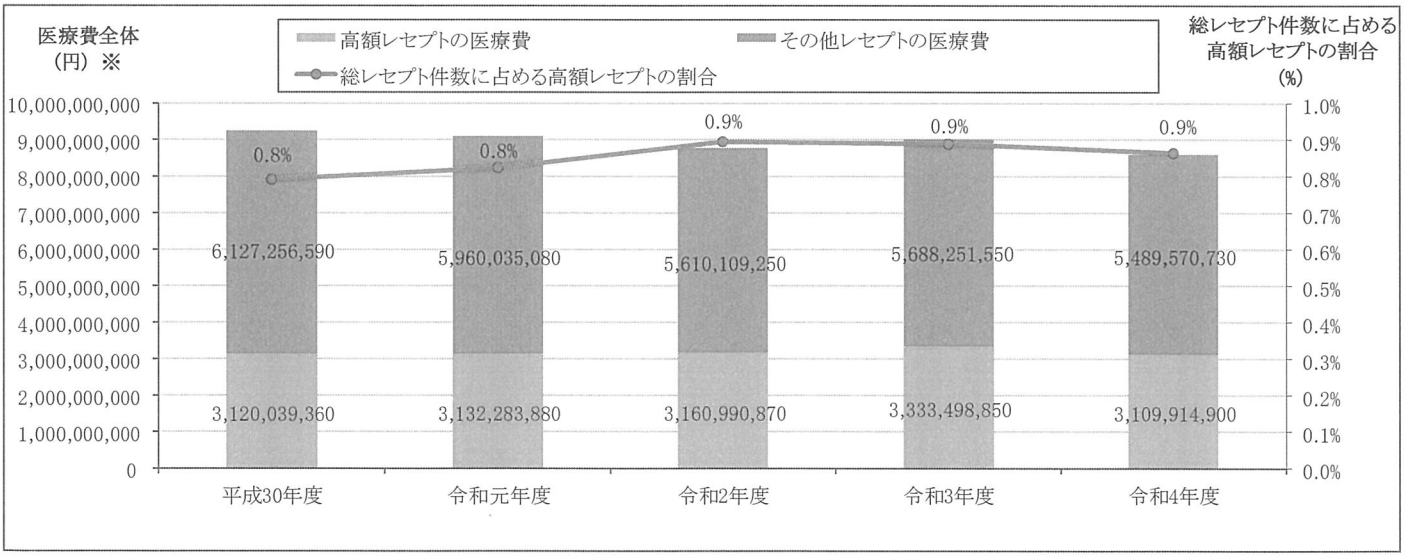
以下は、平成30年度から令和4年度に発生している高額レセプトの集計結果を年度別に示したものです。令和4年度高額レセプト件数は平成30年度より81件減少しており、令和4年度高額レセプトの医療費は平成30年度より1,013万円減少しています。

図表68. 高額(5万点以上)レセプト件数及び割合(平成30年度～令和4年度)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
A	レセプト件数(件)	391,083	377,484	348,991	359,167	348,667
B	高額レセプト件数(件)	3,097	3,111	3,126	3,195	3,016
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.8%	0.8%	0.9%	0.9%	0.9%
C	医療費全体(円) ※	9,247,295,950	9,092,318,960	8,771,100,120	9,021,750,400	8,599,485,630
D	高額レセプトの医療費(円) ※	3,120,039,360	3,132,283,880	3,160,990,870	3,333,498,850	3,109,914,900
E	その他レセプトの医療費(円) ※	6,127,256,590	5,960,035,080	5,610,109,250	5,688,251,550	5,489,570,730
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	33.7%	34.4%	36.0%	36.9%	36.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成30年4月～令和5年3月診療分(60カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としています。
※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。
※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。
※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

図表69. 高額(5万点以上)レセプトの医療費及び件数割合(平成30年度～令和4年度)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成30年4月～令和5年3月診療分(60カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としています。
※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

(3)高額レセプト発生患者の疾病傾向

以下は、平成30年度から令和4年度における、高額レセプト発生患者の疾病傾向を患者数順に年度別に示したものです。

図表70. 高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)(平成30年度～令和4年度)

年度	順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの医療費(円) ※
平成30年度	1	0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 膵癌	130	3,707,111
	2	1901	骨折	大腿骨頚部骨折, 橈骨遠位端骨折, 腰椎圧迫骨折	77	2,012,667
	3	0902	虚血性心疾患	不安定狭心症, 無症候性心筋虚血, 労作性狭心症	71	3,065,086
	4	0903	その他の心疾患	非弁膜症性心房細動, 発作性心房細動, うっ血性心不全	69	3,280,808
	5	1113	その他の消化器系の疾患	急性虫垂炎, 鼠径ヘルニア, 両側鼠径ヘルニア	53	1,529,529
令和元年度	1	0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	前立腺癌, 膵頭部癌, 甲状腺癌	152	3,756,718
	2	0903	その他の心疾患	非弁膜症性心房細動, 発作性心房細動, 非弁膜症性発作性心房細動	72	3,677,796
	3	1901	骨折	大腿骨頚部骨折, 腰椎圧迫骨折, 踵骨骨折	66	2,060,388
	4	0902	虚血性心疾患	不安定狭心症, 労作性狭心症, 急性下壁心筋梗塞	61	2,448,734
	5	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	原発性肺癌, 肺癌, 下葉肺癌	60	6,129,260
令和2年度	1	0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	前立腺癌, 膵頭部癌, 腎細胞癌	131	3,803,725
	2	1901	骨折	橈骨遠位端骨折, 大腿骨頚部骨折, 腰椎圧迫骨折	85	1,957,828
	3	1113	その他の消化器系の疾患	鼠径ヘルニア, 外鼠径ヘルニア, 大腸クローン病	68	1,830,135
	4	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	原発性肺癌, 肺癌, 下葉肺癌	64	6,449,791
	5	0903	その他の心疾患	発作性心房細動, 持続性心房細動, うっ血性心不全	60	3,527,684
令和3年度	1	0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	前立腺癌, 膵頭部癌, 去勢抵抗性前立腺癌	141	4,243,340
	2	1901	骨折	大腿骨頚部骨折, 橈骨遠位端骨折, 腰椎圧迫骨折	77	2,250,879
	3	1113	その他の消化器系の疾患	鼠径ヘルニア, 外鼠径ヘルニア, 内鼠径ヘルニア	71	1,930,853
	4	1302	関節症	変形性膝関節症, 一側性形成不全性股関節症, 一側性原発性膝関節症	70	2,480,505
	5	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	上葉肺癌, 下葉肺癌, 肺癌	68	5,827,602
令和4年度	1	0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	前立腺癌, 膵癌, 去勢抵抗性前立腺癌	138	4,214,894
	2	1901	骨折	大腿骨頚部骨折, 橈骨遠位端骨折, 足関節外果骨折	67	2,353,376
	3	1302	関節症	変形性膝関節症, 一側性形成不全性股関節症, 一側性原発性膝関節症	59	2,424,013
	4	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	上葉肺癌, 肺癌, 下葉肺癌	54	4,733,765
	4	0903	その他の心疾患	うっ血性心不全, 持続性心房細動, 大動脈弁狭窄症	54	3,940,049

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成30年4月～令和5年3月診療分(60カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としています。
※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。
※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に集計しました。
※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

(4) 大分類による疾病別医療費統計

以下は、平成30年度から令和4年度に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費を算出し年度別に示したものです。

図表71. 大分類による疾病別医療費統計(平成30年度～令和4年度)

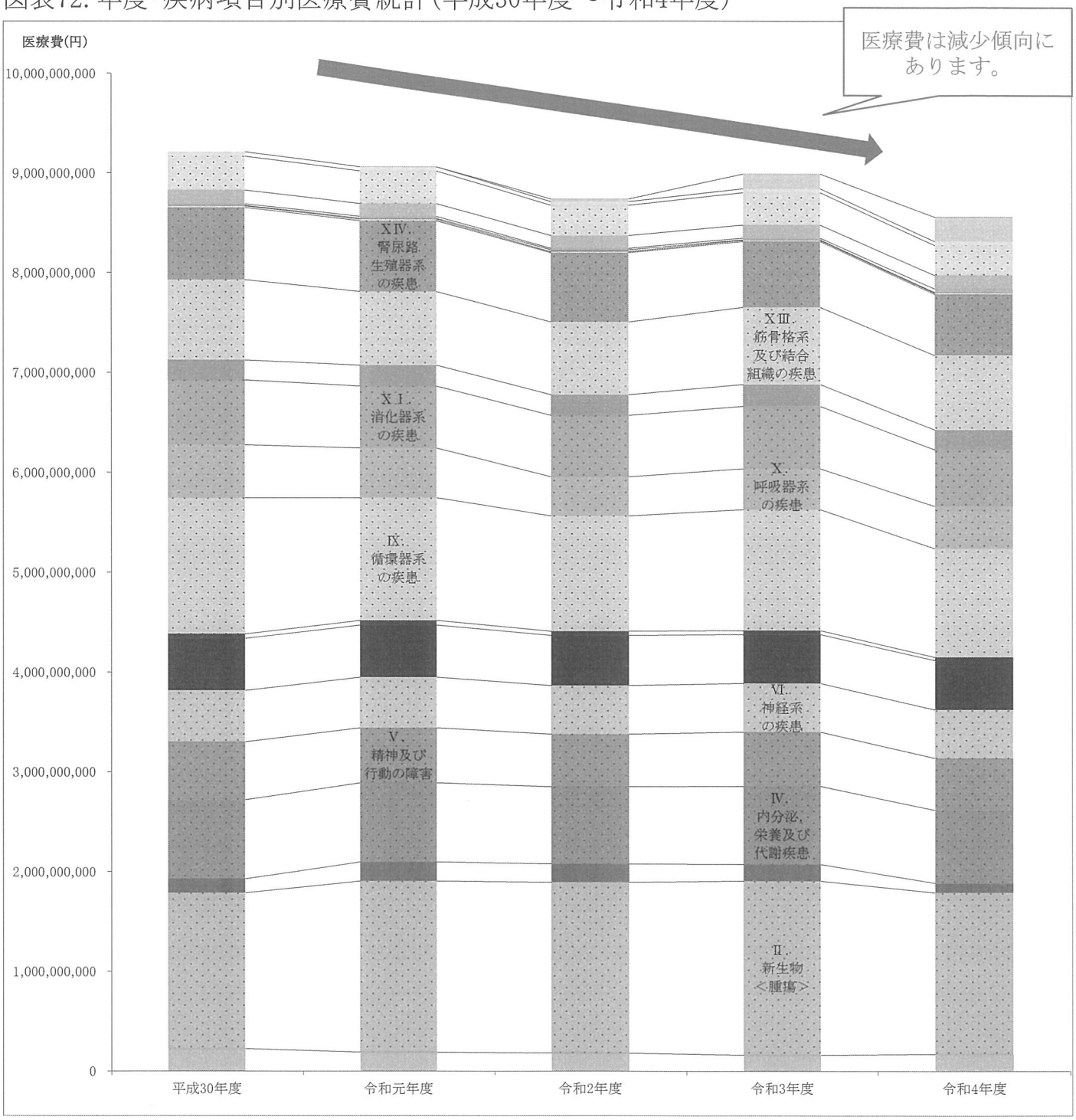
疾病分類(大分類)	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	医療費(円) ※	構成比(%)	順位	医療費(円) ※	構成比(%)	順位	医療費(円) ※	構成比(%)	順位
Ⅰ. 感染症及び寄生虫症	226,573,730	2.5%	12	191,057,929	2.1%	14	180,398,743	2.1%	14
Ⅱ. 新生物＜腫瘍＞	1,561,952,914	17.0%	1	1,717,047,161	18.9%	1	1,713,849,449	19.6%	1
Ⅲ. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	138,748,541	1.5%	15	191,271,653	2.1%	13	186,033,282	2.1%	13
Ⅳ. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	794,592,586	8.6%	4	793,285,706	8.8%	3	770,401,946	8.8%	3
Ⅴ. 精神及び行動の障害	581,481,070	6.3%	7	549,699,032	6.1%	7	529,312,288	6.1%	7
Ⅵ. 神経系の疾患	514,170,385	5.6%	10	506,251,751	5.6%	9	485,601,180	5.6%	9
Ⅶ. 眼及び付属器の疾患	521,952,299	5.7%	9	524,061,020	5.8%	8	502,026,655	5.7%	8
Ⅷ. 耳及び乳様突起の疾患	43,438,817	0.5%	17	46,454,173	0.5%	16	43,269,384	0.5%	16
Ⅸ. 循環器系の疾患	1,362,619,547	14.8%	2	1,228,361,088	13.6%	2	1,153,965,376	13.2%	2
Ⅹ. 呼吸器系の疾患	530,202,088	5.8%	8	496,460,577	5.5%	10	391,554,695	4.5%	10
ⅩⅠ. 消化器系の疾患 ※	649,771,166	7.1%	6	620,367,070	6.8%	6	616,503,094	7.1%	6
ⅩⅡ. 皮膚及び皮下組織の疾患	201,161,708	2.2%	13	209,548,034	2.3%	12	204,464,835	2.3%	12
ⅩⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	802,873,797	8.7%	3	737,678,358	8.1%	4	729,003,948	8.3%	4
ⅩⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	722,503,112	7.8%	5	708,504,593	7.8%	5	693,153,082	7.9%	5
ⅩⅤ. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	16,174,301	0.2%	18	15,181,630	0.2%	19	10,539,805	0.1%	21
ⅩⅥ. 周産期に発生した病態 ※	7,528,582	0.1%	20	9,970,458	0.1%	20	20,295,925	0.2%	19
ⅩⅦ. 先天奇形, 変形及び染色体異常	14,161,423	0.2%	19	20,568,275	0.2%	18	13,679,630	0.2%	20
ⅩⅧ. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	139,078,618	1.5%	14	128,150,393	1.4%	15	129,665,082	1.5%	15
ⅩⅨ. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	338,911,567	3.7%	11	327,159,803	3.6%	11	302,816,608	3.5%	11
ⅩⅩⅠ. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	43,464,732	0.5%	16	41,439,392	0.5%	17	37,780,736	0.4%	17
ⅩⅩⅡ. 特殊目的用コード	0	0.0%		41,302	0.0%	22	26,032,491	0.3%	18
分類外	1,408,217	0.0%	21	979,412	0.0%	21	1,099,856	0.0%	22
合計	9,212,769,200			9,063,538,810			8,741,448,090		

※各年度毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	令和3年度			令和4年度		
	医療費(円) ※	構成比(%)	順位	医療費(円) ※	構成比(%)	順位
Ⅰ. 感染症及び寄生虫症	162,815,936	1.8%	14	173,148,028	2.0%	14
Ⅱ. 新生物＜腫瘍＞	1,744,596,339	19.4%	1	1,619,313,447	18.9%	1
Ⅲ. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	166,914,441	1.9%	13	94,154,299	1.1%	16
Ⅳ. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	781,629,735	8.7%	3	732,275,329	8.6%	4
Ⅴ. 精神及び行動の障害	545,171,499	6.1%	7	520,393,621	6.1%	7
Ⅵ. 神経系の疾患	487,627,108	5.4%	9	486,187,411	5.7%	9
Ⅶ. 眼及び付属器の疾患	489,311,156	5.4%	8	492,748,807	5.8%	8
Ⅷ. 耳及び乳様突起の疾患	40,144,492	0.4%	18	32,291,457	0.4%	19
Ⅸ. 循環器系の疾患	1,209,705,933	13.5%	2	1,089,466,341	12.7%	2
Ⅹ. 呼吸器系の疾患	408,338,396	4.5%	10	422,457,786	4.9%	10
ⅩⅠ. 消化器系の疾患 ※	625,933,487	7.0%	6	567,003,314	6.6%	6
ⅩⅡ. 皮膚及び皮下組織の疾患	220,106,963	2.4%	12	201,028,658	2.3%	13
ⅩⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	772,398,999	8.6%	4	744,635,379	8.7%	3
ⅩⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	658,975,372	7.3%	5	613,334,037	7.2%	5
ⅩⅤ. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	13,534,411	0.2%	20	10,352,180	0.1%	20
ⅩⅥ. 周産期に発生した病態 ※	4,912,229	0.1%	21	7,655,551	0.1%	21
ⅩⅦ. 先天奇形, 変形及び染色体異常	16,648,712	0.2%	19	36,153,838	0.4%	18
ⅩⅧ. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	131,020,424	1.5%	16	134,790,653	1.6%	15
ⅩⅨ. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	324,317,257	3.6%	11	300,608,601	3.5%	11
ⅩⅩⅠ. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	40,260,297	0.4%	17	37,498,793	0.4%	17
ⅩⅩⅡ. 特殊目的用コード	146,761,369	1.6%	15	245,615,708	2.9%	12
分類外	763,535	0.0%	22	878,732	0.0%	22
合計	8,991,888,090			8,561,991,970		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成30年4月～令和5年3月診療分(60カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としています。
医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しません。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できません。
※妊娠,分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性があります。

図表72. 年度・疾病項目別医療費統計(平成30年度～令和4年度)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成30年4月～令和5年3月診療分(60カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としています。
医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
そのため他統計と一致しません。
消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できません。

(5) 中分類による疾病別医療費統計

以下は、平成30年度から令和4年度に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費上位10疾病を年度別に示したものです。

図表73. 中分類による疾病別統計（医療費上位10疾病）（平成30年度～令和4年度）

年度	順位	疾病分類（中分類）		医療費（円） ※	構成比（%）（医療費総計全体に対して占める割合）	患者数（人） ※
平成30年度	1	0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	548,556,710	6.0%	4,188
	2	1402	腎不全	505,513,467	5.5%	565
	3	0402	糖尿病	392,795,555	4.3%	6,829
	4	1113	その他の消化器系の疾患	379,828,339	4.1%	8,111
	5	0903	その他の心疾患	353,430,987	3.8%	3,714
	6	0901	高血圧性疾患	350,300,691	3.8%	8,093
	7	0704	その他の眼及び付属器の疾患	318,482,720	3.5%	8,099
	8	0606	その他の神経系の疾患	309,120,905	3.4%	5,417
	9	0503	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	280,670,343	3.0%	828
	10	0205	気管，気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	252,490,836	2.7%	1,012
令和元年度	1	0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	613,137,371	6.8%	4,102
	2	1402	腎不全	487,730,163	5.4%	560
	3	0402	糖尿病	388,754,459	4.3%	6,778
	4	1113	その他の消化器系の疾患	374,246,398	4.1%	7,863
	5	0903	その他の心疾患	351,932,553	3.9%	3,682
	6	0205	気管，気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	351,228,963	3.9%	1,011
	7	0901	高血圧性疾患	327,884,848	3.6%	7,851
	8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	320,886,322	3.5%	7,835
	9	0606	その他の神経系の疾患	303,889,707	3.4%	5,243
	10	0503	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	255,915,758	2.8%	852
令和2年度	1	0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	575,124,023	6.6%	4,003
	2	1402	腎不全	485,566,349	5.6%	573
	3	1113	その他の消化器系の疾患	388,609,458	4.4%	7,389
	4	0205	気管，気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	382,385,483	4.4%	942
	5	0402	糖尿病	376,960,421	4.3%	6,778
	6	0903	その他の心疾患	323,854,758	3.7%	3,594
	7	0704	その他の眼及び付属器の疾患	311,311,431	3.6%	7,271
	8	0901	高血圧性疾患	310,823,390	3.6%	7,734
	9	0606	その他の神経系の疾患	280,996,357	3.2%	5,003
	10	0503	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	255,997,676	2.9%	872

□…生活習慣病の疾病に色付け

年度	順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人) ※
令和3年度	1	0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	636,509,062	7.1%	3,930
	2	1402	腎不全	452,747,647	5.0%	581
	3	1113	その他の消化器系の疾患	398,336,937	4.4%	7,518
	4	0402	糖尿病	383,893,841	4.3%	6,956
	5	0205	気管，気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	372,800,639	4.1%	896
	6	0903	その他の心疾患	348,723,059	3.9%	3,639
	7	0901	高血圧性疾患	304,534,799	3.4%	7,821
	8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	301,499,836	3.4%	7,341
	9	0606	その他の神経系の疾患	276,538,803	3.1%	5,086
	10	0503	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	265,116,290	2.9%	906
令和4年度	1	0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	636,917,146	7.4%	3,874
	2	1402	腎不全	424,462,384	5.0%	583
	3	0402	糖尿病	369,469,056	4.3%	6,796
	4	1113	その他の消化器系の疾患	353,626,835	4.1%	7,196
	5	0903	その他の心疾患	316,438,888	3.7%	3,557
	6	0704	その他の眼及び付属器の疾患	303,268,923	3.5%	7,353
	7	0606	その他の神経系の疾患	288,934,396	3.4%	5,036
	8	0901	高血圧性疾患	270,977,134	3.2%	7,539
	9	2220	その他の特殊目的用コード	245,613,143	2.9%	5,599
	10	0503	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	244,895,888	2.9%	927

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成30年4月～令和5年3月診療分(60カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としています。
医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しません。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しません(複数疾病をもつ患者がいるため)。

□…生活習慣病の疾病に色付け

以下は、患者数上位10疾病を年度別に示したものです。

図表74. 中分類による疾病別統計（患者数上位10疾病）（平成30年度～令和4年度）

年度	順位	疾病分類（中分類）		医療費(円) ※	患者数(人) ※	構成比(%)（患者数全体に対して占める割合）
平成30年度	1	0703	屈折及び調節の障害	34,529,952	8,157	34.0%
	2	1113	その他の消化器系の疾患	379,828,339	8,111	33.8%
	3	0704	その他の眼及び付属器の疾患	318,482,720	8,099	33.7%
	4	0901	高血圧性疾患	350,300,691	8,093	33.7%
	5	1800	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	139,078,618	7,051	29.4%
	6	0402	糖尿病	392,795,555	6,829	28.4%
	7	0403	脂質異常症	243,777,211	6,786	28.3%
	8	1105	胃炎及び十二指腸炎	78,694,253	6,726	28.0%
	9	0701	結膜炎	44,472,758	5,956	24.8%
	10	1006	アレルギー性鼻炎	66,601,859	5,951	24.8%
令和元年度	1	0703	屈折及び調節の障害	33,110,817	8,171	35.7%
	2	1113	その他の消化器系の疾患	374,246,398	7,863	34.4%
	3	0901	高血圧性疾患	327,884,848	7,851	34.3%
	4	0704	その他の眼及び付属器の疾患	320,886,322	7,835	34.2%
	5	0402	糖尿病	388,754,459	6,778	29.6%
	6	1800	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	128,150,393	6,649	29.1%
	7	0403	脂質異常症	239,104,757	6,605	28.9%
	8	1105	胃炎及び十二指腸炎	74,126,228	6,514	28.5%
	9	1006	アレルギー性鼻炎	62,758,939	5,560	24.3%
	10	0701	結膜炎	43,102,912	5,547	24.2%
令和2年度	1	0901	高血圧性疾患	310,823,390	7,734	35.9%
	2	0703	屈折及び調節の障害	30,303,261	7,624	35.4%
	3	1113	その他の消化器系の疾患	388,609,458	7,389	34.3%
	4	0704	その他の眼及び付属器の疾患	311,311,431	7,271	33.8%
	5	0402	糖尿病	376,960,421	6,778	31.5%
	6	0403	脂質異常症	221,252,624	6,492	30.2%
	7	1800	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	129,665,082	5,689	26.4%
	8	0701	結膜炎	44,196,111	5,301	24.6%
	9	1105	胃炎及び十二指腸炎	64,485,450	5,242	24.4%
	10	1202	皮膚炎及び湿疹	80,497,893	5,150	23.9%

□…生活習慣病の疾病に色付け

年度	順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)
令和3年度	1	0901	高血圧性疾患	304,534,799	7,821	35.9%
	2	0703	屈折及び調節の障害	30,025,206	7,649	35.1%
	3	1113	その他の消化器系の疾患	398,336,937	7,518	34.5%
	4	0704	その他の眼及び付属器の疾患	301,499,836	7,341	33.7%
	5	0402	糖尿病	383,893,841	6,956	32.0%
	6	1800	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	131,020,424	6,653	30.6%
	7	0403	脂質異常症	221,484,674	6,637	30.5%
	8	1105	胃炎及び十二指腸炎	64,636,460	5,415	24.9%
	9	1202	皮膚炎及び湿疹	84,078,900	5,225	24.0%
	10	0606	その他の神経系の疾患	276,538,803	5,086	23.4%
	10	0701	結膜炎	40,509,094	5,086	23.4%
令和4年度	1	0703	屈折及び調節の障害	30,070,473	7,677	35.9%
	2	0901	高血圧性疾患	270,977,134	7,539	35.3%
	3	0704	その他の眼及び付属器の疾患	303,268,923	7,353	34.4%
	4	1113	その他の消化器系の疾患	353,626,835	7,196	33.7%
	5	1800	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	134,790,653	6,841	32.0%
	6	0402	糖尿病	369,469,056	6,796	31.8%
	7	0403	脂質異常症	196,146,254	6,498	30.4%
	8	2220	その他の特殊目的用コード	245,613,143	5,599	26.2%
	9	0701	結膜炎	38,750,831	5,442	25.5%
	10	1105	胃炎及び十二指腸炎	61,018,085	5,286	24.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成30年4月～令和5年3月診療分(60カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としています。
医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できません。そのため他統計と一致しません。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しません(複数疾病をもつ患者がいるため)。

□…生活習慣病の疾病に色付け

以下は、患者一人当たりの医療費上位10疾病を年度別に示したものです。

図表75. 中分類による疾病別統計（患者一人当たりの医療費上位10疾病）
（平成30年度～令和4年度）

年度	順位	疾病分類（中分類）		医療費(円) ※	患者数(人) ※	患者一人当たりの医療費(円)
平成30年度	1	0209	白血病	86,484,682	87	994,077
	2	1402	腎不全	505,513,467	565	894,714
	3	1502	妊娠高血圧症候群	3,340,344	5	668,069
	4	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	48,021,587	117	410,441
	5	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	51,077,541	139	367,464
	6	0503	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	280,670,343	828	338,974
	7	0904	くも膜下出血	22,214,041	68	326,677
	8	0601	パーキンソン病	54,048,330	215	251,388
	9	0205	気管，気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	252,490,836	1,012	249,497
	10	0905	脳内出血	71,423,192	296	241,295
令和元年度	1	1402	腎不全	487,730,163	560	870,947
	2	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	65,123,343	137	475,353
	3	0209	白血病	36,896,624	78	473,034
	4	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	38,798,941	96	404,156
	5	0205	気管，気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	351,228,963	1,011	347,407
	6	0503	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	255,915,758	852	300,371
	7	1502	妊娠高血圧症候群	842,684	3	280,895
	8	0905	脳内出血	73,023,314	267	273,496
	9	0904	くも膜下出血	13,983,335	57	245,322
	10	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	5,356,138	22	243,461
令和2年度	1	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	17,214,556	18	956,364
	2	1402	腎不全	485,566,349	573	847,411
	3	0209	白血病	59,478,090	76	782,606
	4	1502	妊娠高血圧症候群	1,456,790	3	485,597
	5	0205	気管，気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	382,385,483	942	405,929
	6	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	35,946,418	90	399,405
	7	0904	くも膜下出血	20,899,864	65	321,536
	8	0503	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	255,997,676	872	293,575
	9	0208	悪性リンパ腫	65,535,123	237	276,520
	10	0206	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	147,067,036	535	274,892

□…生活習慣病の疾病に色付け

年度	順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	患者数(人) ※	患者一人当たりの医療費(円)
令和3年度	1	1402	腎不全	452,747,647	581	779,256
	2	0209	白血病	42,064,041	67	627,822
	3	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	70,844,078	129	549,179
	4	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	39,621,654	88	450,246
	5	0205	気管，気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	372,800,639	896	416,072
	6	0905	脳内出血	98,362,942	257	382,735
	7	0904	くも膜下出血	24,780,914	66	375,468
	8	0503	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	265,116,290	906	292,623
	9	0206	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	128,416,266	514	249,837
	10	0208	悪性リンパ腫	58,052,527	240	241,886
令和4年度	1	1402	腎不全	424,462,384	583	728,066
	2	0208	悪性リンパ腫	135,167,234	230	587,684
	3	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	32,756,455	84	389,958
	4	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	46,896,973	128	366,383
	5	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	3,841,113	11	349,192
	6	0205	気管，気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	240,031,709	873	274,950
	7	0209	白血病	16,023,141	59	271,579
	8	0503	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	244,895,888	927	264,181
	9	0601	パーキンソン病	66,141,087	265	249,589
	10	0905	脳内出血	61,716,813	248	248,858

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成30年4月～令和5年3月診療分(60カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としています。
医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できません。そのため他統計と一致しません。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しません(複数疾病をもつ患者がいるため)。

□…生活習慣病の疾病に色付け

2. 生活習慣病に係る医療費等の状況

(1) 生活習慣病と生活習慣病以外の医療費と患者数

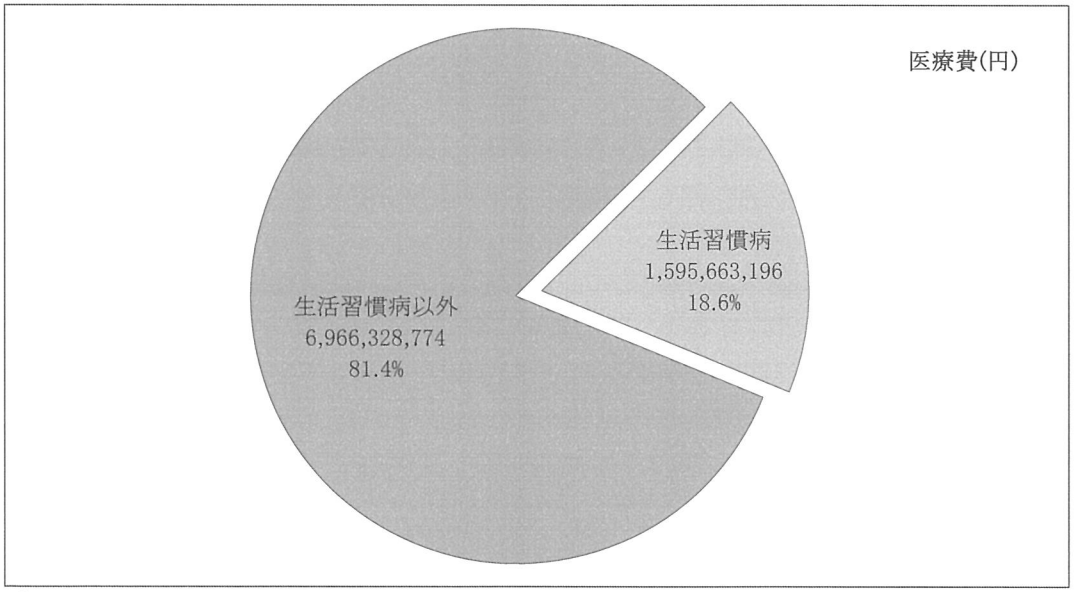
令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)のレセプトより、疾病分類表における中分類単位で生活習慣病と生活習慣病以外の医療費を集計した結果を示しています。ここでは、生活習慣病の基礎疾患(糖尿病、脂質異常症、高血圧性疾患)及び生活習慣病に関係する重症化疾患を生活習慣病とし集計しました。生活習慣病の医療費は15億9,566万円で、医療費全体に占める割合は18.6%です。

図表76. 生活習慣病と生活習慣病以外の医療費(令和4年度)

	入院(円)	構成比(%)	入院外(円)	構成比(%)	合計(円)	構成比(%)
生活習慣病	364,079,621	11.1%	1,231,583,575	23.3%	1,595,663,196	18.6%
生活習慣病以外	2,911,802,239	88.9%	4,054,526,535	76.7%	6,966,328,774	81.4%
合計(円)	3,275,881,860		5,286,110,110		8,561,991,970	

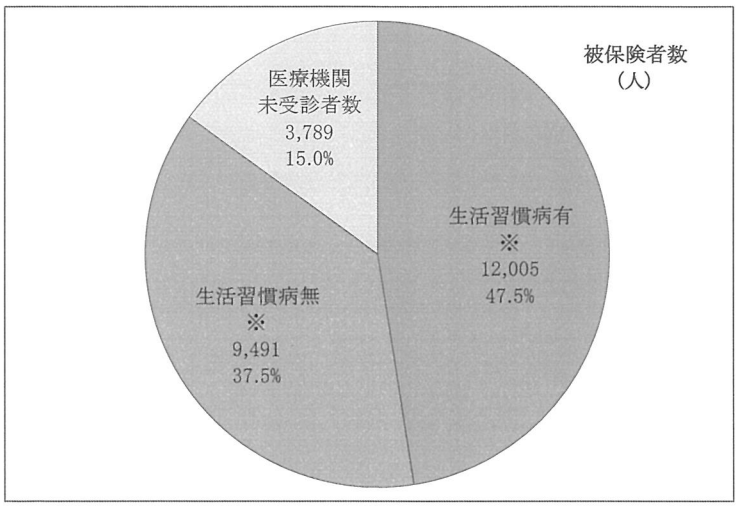
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としています。
生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としています。
0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全
医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

図表77. 医療費全体に占める生活習慣病医療費の割合(令和4年度)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としています。
生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としています。
0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全
医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

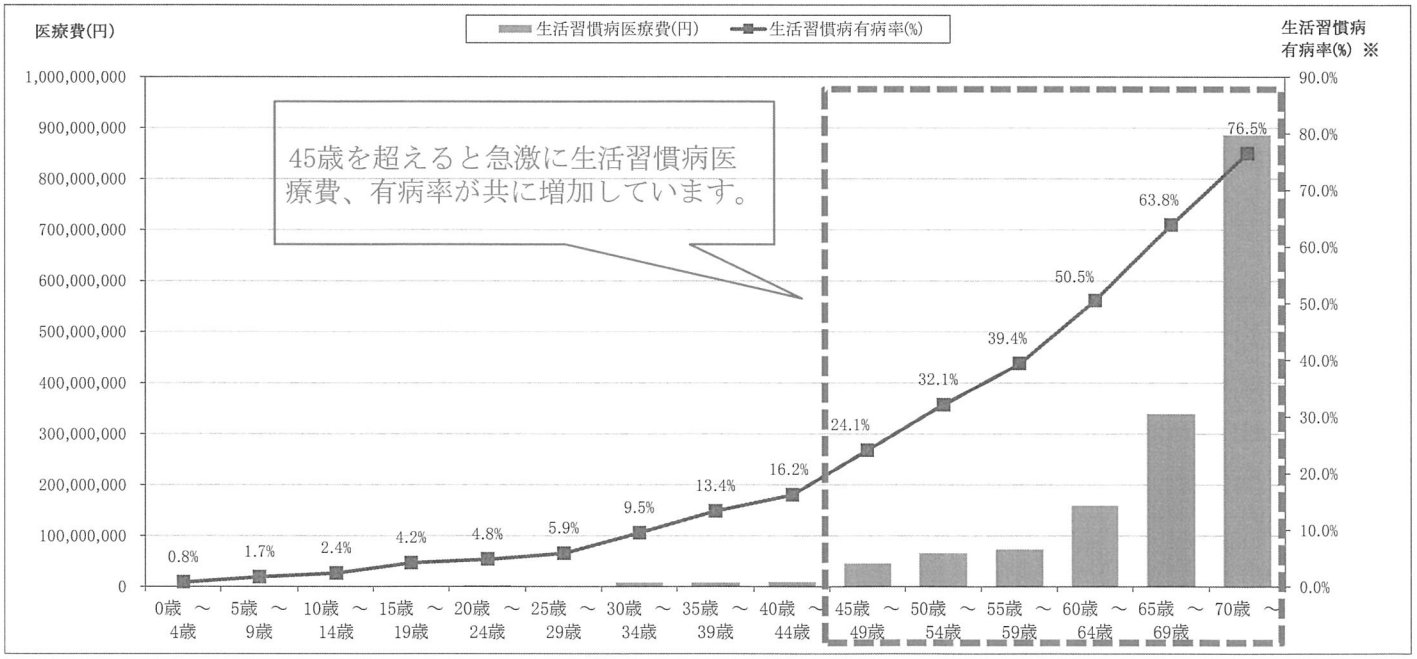
図表78. 被保険者全体に占める生活習慣病患者の状況(令和4年度)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としています。
※生活習慣病有…分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がある患者を対象に集計しています。
※生活習慣病無…レセプトが発生している患者のうち、分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がない患者を対象に集計しています。
生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、
「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としています。
0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、
0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全
医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

年齢階級別の生活習慣病医療費と有病率を以下に示します。年齢階級が上がるにつれて患者数が増え医療費が増大する傾向にあります。

図表79. 年齢階級別 生活習慣病医療費と有病率(令和4年度)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としています。
※生活習慣病有病率…被保険者数に占める生活習慣病患者数の割合。
生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、
「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としています。
0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、
0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全
医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

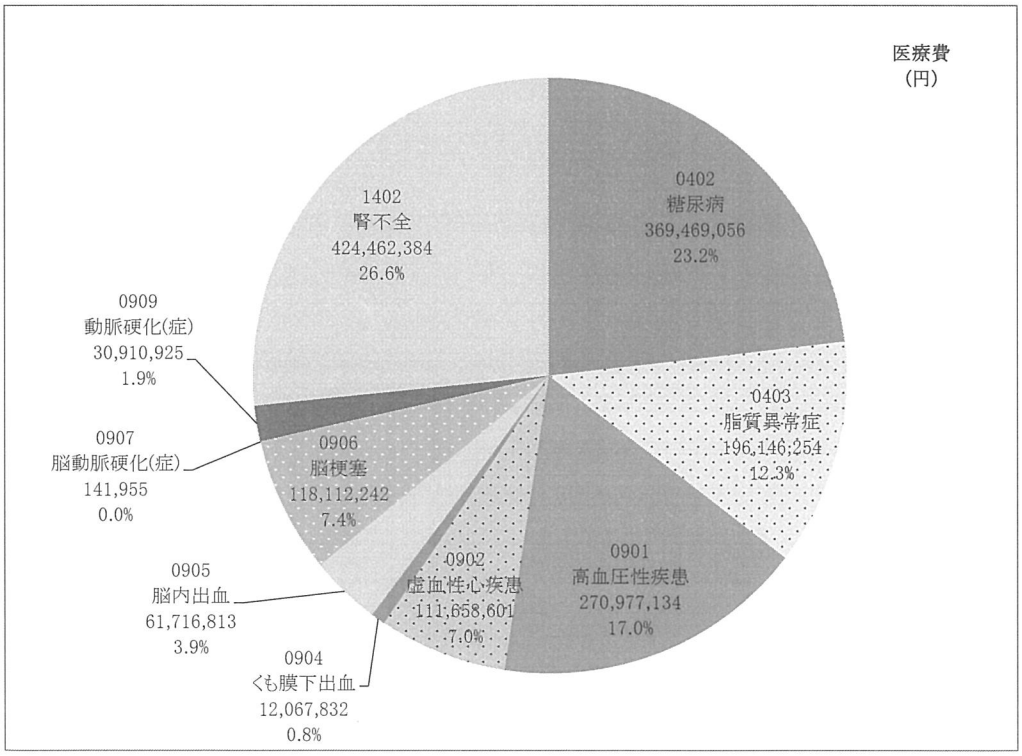
(2)生活習慣病疾病別医療費等の状況

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)における、生活習慣病疾病別の医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、有病率は以下のとおりです。

図表80. 生活習慣病疾病別 医療費統計(令和4年度)

疾病分類(中分類)		医療費(円)	構成比(%)	順位	患者数(人)	有病率(%) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0402	糖尿病	369,469,056	23.2%	2	6,796	26.9%	2	54,366	6
0403	脂質異常症	196,146,254	12.3%	4	6,498	25.7%	3	30,186	8
0901	高血圧性疾患	270,977,134	17.0%	3	7,539	29.8%	1	35,943	7
0902	虚血性心疾患	111,658,601	7.0%	6	1,830	7.2%	4	61,016	5
0904	くも膜下出血	12,067,832	0.8%	9	60	0.2%	9	201,131	3
0905	脳内出血	61,716,813	3.9%	7	248	1.0%	8	248,858	2
0906	脳梗塞	118,112,242	7.4%	5	1,290	5.1%	5	91,560	4
0907	脳動脈硬化(症)	141,955	0.0%	10	14	0.1%	10	10,140	10
0909	動脈硬化(症)	30,910,925	1.9%	8	1,165	4.6%	6	26,533	9
1402	腎不全	424,462,384	26.6%	1	583	2.3%	7	728,066	1
合計		1,595,663,196			12,005	47.5%		132,917	

図表81. 生活習慣病疾病別 医療費割合(令和4年度)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としています。
※有病率…被保険者数に占める患者数の割合。
生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としています。
医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

以下は、平成30年度から令和4年度における、生活習慣病医療費を年度別に示したものです。令和4年度を平成30年度と比較すると、糖尿病医療費は、平成30年度より2,333万円減少しています。また、脂質異常症医療費は、平成30年度より4,763万円減少しています。高血圧性疾患医療費は、平成30年度より7,932万円減少しています。

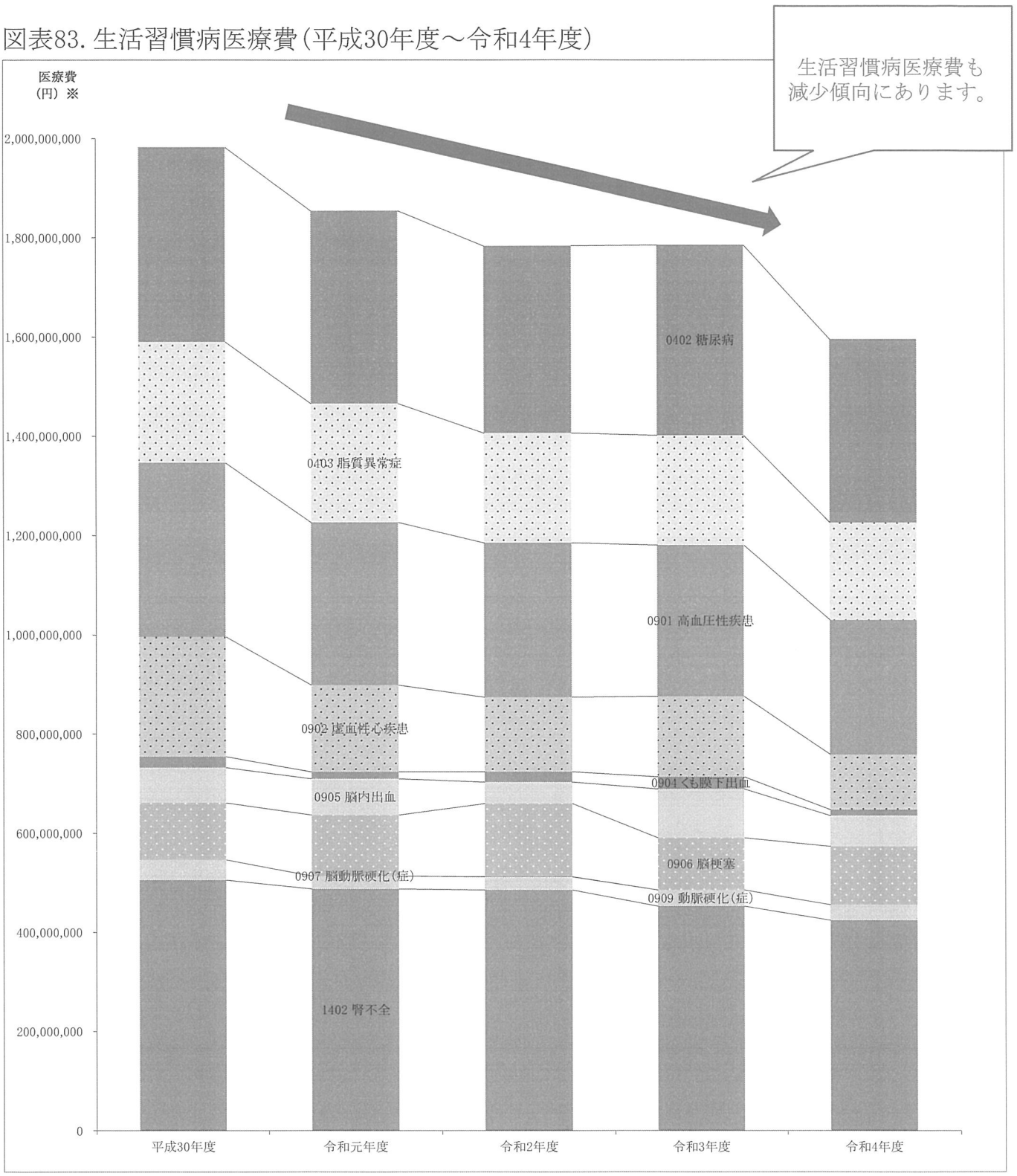
図表82. 生活習慣病医療費(平成30年度～令和4年度)

疾病分類(中分類)		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		医療費(円) ※	構成比(%)	医療費(円) ※	構成比(%)	医療費(円) ※	構成比(%)
0402	糖尿病	392,795,555	19.8%	388,754,459	21.0%	376,960,421	21.1%
0403	脂質異常症	243,777,211	12.3%	239,104,757	12.9%	221,252,624	12.4%
0901	高血圧性疾患	350,300,691	17.7%	327,884,848	17.7%	310,823,390	17.4%
0902	虚血性心疾患	241,330,850	12.2%	174,692,949	9.4%	150,221,983	8.4%
0904	くも膜下出血	22,214,041	1.1%	13,983,335	0.8%	20,899,864	1.2%
0905	脳内出血	71,423,192	3.6%	73,023,314	3.9%	43,467,239	2.4%
0906	脳梗塞	114,549,119	5.8%	122,765,035	6.6%	147,248,354	8.3%
0907	脳動脈硬化(症)	233,434	0.0%	170,310	0.0%	154,928	0.0%
0909	動脈硬化(症)	40,870,141	2.1%	26,196,858	1.4%	26,581,825	1.5%
1402	腎不全	505,513,467	25.5%	487,730,163	26.3%	485,566,349	27.2%
	合計	1,983,007,701		1,854,306,028		1,783,176,977	

疾病分類(中分類)		令和3年度		令和4年度	
		医療費(円) ※	構成比(%)	医療費(円) ※	構成比(%)
0402	糖尿病	383,893,841	21.5%	369,469,056	23.2%
0403	脂質異常症	221,484,674	12.4%	196,146,254	12.3%
0901	高血圧性疾患	304,534,799	17.1%	270,977,134	17.0%
0902	虚血性心疾患	162,284,694	9.1%	111,658,601	7.0%
0904	くも膜下出血	24,780,914	1.4%	12,067,832	0.8%
0905	脳内出血	98,362,942	5.5%	61,716,813	3.9%
0906	脳梗塞	105,047,650	5.9%	118,112,242	7.4%
0907	脳動脈硬化(症)	69,784	0.0%	141,955	0.0%
0909	動脈硬化(症)	32,905,408	1.8%	30,910,925	1.9%
1402	腎不全	452,747,647	25.3%	424,462,384	26.6%
	合計	1,786,112,353		1,595,663,196	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成30年4月～令和5年3月診療分(60カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としています。
医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、
「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としています。
※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できません。そのため他統計と一致しません。

図表83. 生活習慣病医療費(平成30年度～令和4年度)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成30年4月～令和5年3月診療分(60カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としています。
医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、
「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としています。
※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できません。そのため他統計と一致しません。

(3)高血圧症に係る分析

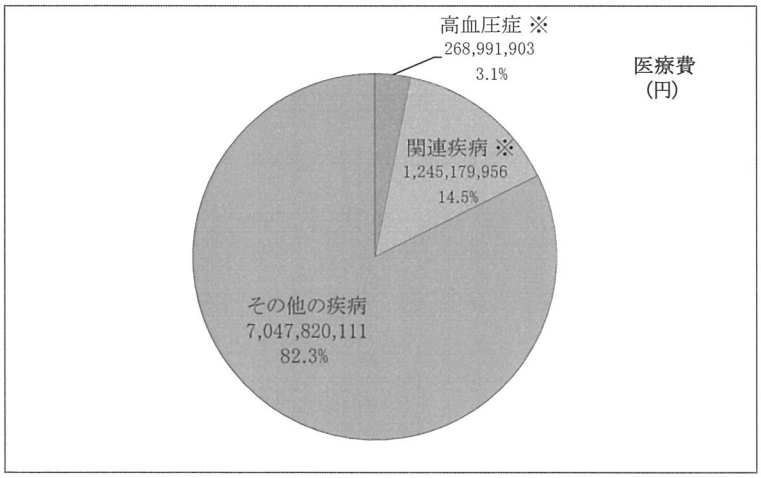
①高血圧症及び関連疾病の医療費等分析

高血圧症、及び高血圧により発症や重症化のリスクが高まる脳心血管病、腎疾患等の重篤な疾病(以下、「関連疾病」という)に係る医療費等の状況について分析を行いました。

図表84. 高血圧症及び関連疾病の医療費等の状況(令和4年度)

疾病項目			医療費(円)	構成比(%)	患者数(人)
高血圧症及び関連疾病			1,514,171,859	17.7%	9,985
	高血圧症 ※		268,991,903	3.1%	7,531
	関連疾病 ※		1,245,179,956	14.5%	6,486
		脳血管障害	249,095,229	2.9%	2,158
		心疾患	429,912,964	5.0%	4,267
		腎疾患	453,349,848	5.3%	1,122
		血管疾患	112,821,915	1.3%	1,735
その他の疾病			7,047,820,111	82.3%	21,234
合計			8,561,991,970		21,366

図表85. 医療費全体に占める高血圧症及び関連疾病の医療費割合(令和4年度)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としています。
※高血圧症…ICD10により、次の疾病を対象に集計。I10「本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)」、I15「二次性<続発性>高血圧(症)」
※関連疾病…中分類または、ICD10により、以下の疾病を対象に集計。
脳血管障害…0904「くも膜下出血」、0905「脳内出血」、0906「脳梗塞」、0907「脳動脈硬化(症)」、0908「その他の脳血管疾患」
心疾患…0902「虚血性心疾患」、0903「その他の心疾患」、I11「高血圧性心疾患」、I13「高血圧性心腎疾患」
腎疾患…1401「糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患」、1402「腎不全」、I12「高血圧性腎疾患」
血管疾患…0909「動脈硬化(症)」、0912「その他の循環器系の疾患」(一部)
医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

②健康診査データによる高血圧該当状況分析

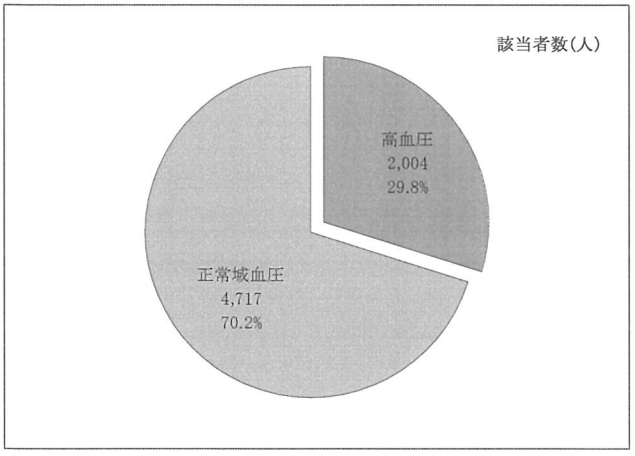
40歳以上の被保険者を対象として、特定健康診査受診者における高血圧該当状況及び降圧薬服薬状況について示しています。特定健康診査受診者の29.8%に当たる2,004人が高血圧に該当し、そのうち1,038人に高血圧症の投薬レセプトが有ります。特定健康診査受診者の70.2%に当たる4,717人が正常域血圧に該当し、そのうち1,661人に高血圧症の投薬レセプトが有ります。

図表86. 健診及びレセプトによる高血圧該当状況(令和4年度)

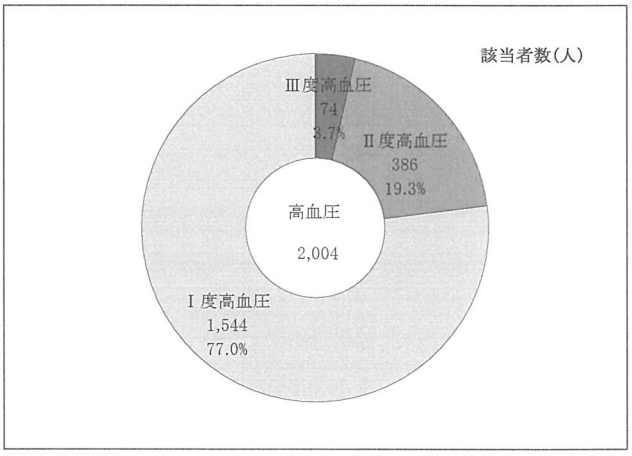
血圧値の分類	検査値範囲 収縮期血圧(mmHg)		拡張期血圧(mmHg)	該当者数(人)	高血圧症 ※投薬レセプト有	高血圧症 ※投薬レセプト無	高血圧症及び関連疾病 ※レセプト無
高血圧				2,004	1,038	241	725
Ⅲ度高血圧	180～	かつ／または	110～	74	45	9	20
Ⅱ度高血圧	160～179	かつ／または	100～109	386	214	41	131
Ⅰ度高血圧	140～159	かつ／または	90～99	1,544	779	191	574
正常域血圧				4,717	1,661	664	2,392
正常高値血圧	130～139	かつ／または	85～89	1,500	714	200	586
正常値血圧	120～129	かつ／または	80～84	1,593	593	215	785
至適血圧	～119	かつ	～79	1,624	354	249	1,021

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。
※高血圧症…ICD10により、次の疾病を対象に集計。I10「本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)」、I15「二次性<続発性>高血圧(症)」
※関連疾病…中分類または、ICD10により、以下の疾病を対象に集計。
脳血管障害…0904「くも膜下出血」、0905「脳内出血」、0906「脳梗塞」、0907「脳動脈硬化(症)」、0908「その他の脳血管疾患」
心疾患…0902「虚血性心疾患」、0903「その他の心疾患」、I11「高血圧性心疾患」、I13「高血圧性心腎疾患」
腎疾患…1401「糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患」、1402「腎不全」、I12「高血圧性腎疾患」
血管疾患…0909「動脈硬化(症)」、0912「その他の循環器系の疾患」(一部)
医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
参考資料:日本高血圧学会「高血圧治療ガイドライン2014」

図表87.
健診受診者に占める高血圧該当者の割合



図表88.
高血圧該当者における血圧値分類別割合



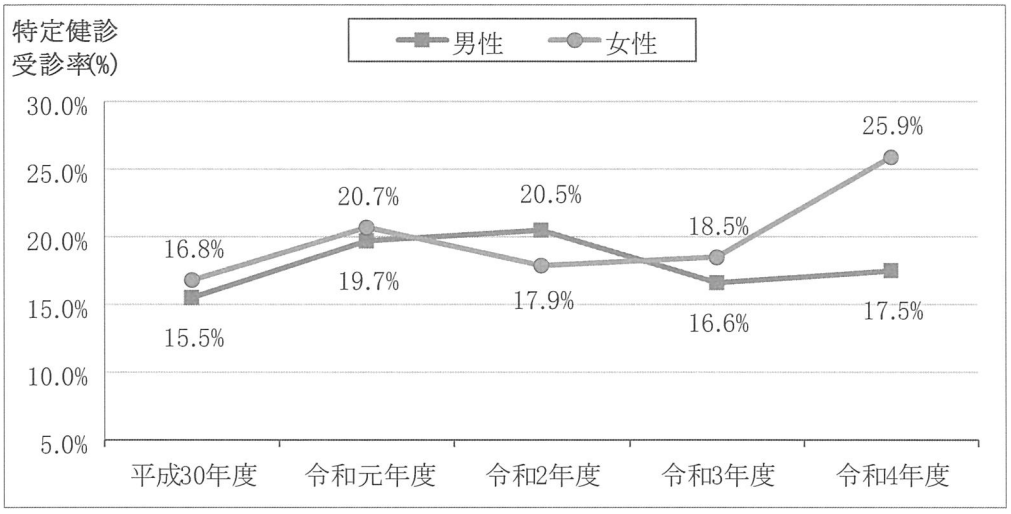
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。
参考資料:日本高血圧学会「高血圧治療ガイドライン2014」

3. 特定健康診査に係る分析結果

(1) 特定健康診査受診率

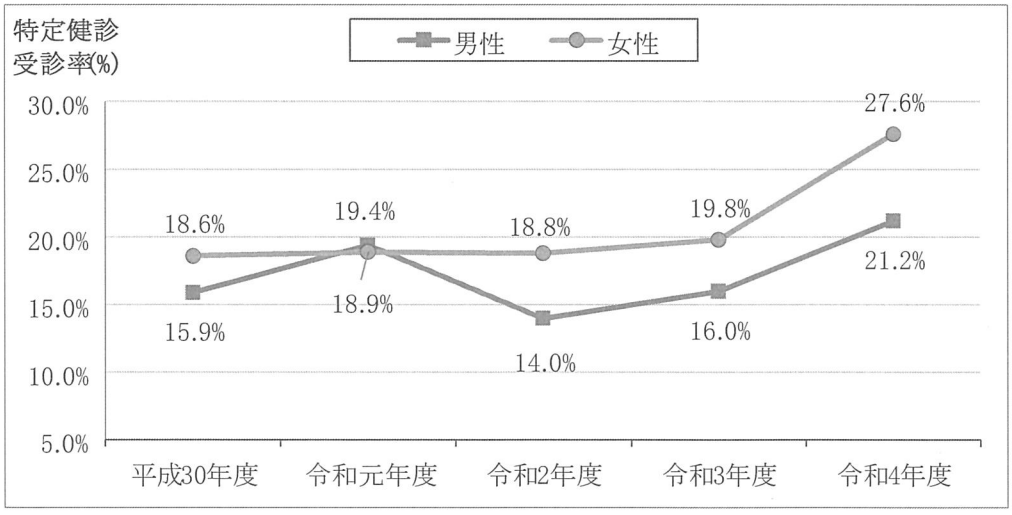
以下は、平成30年度から令和4年度における、男女の年齢階級別の受診率を示します。

図表89. 年度別 男女 40歳～44歳特定健康診査受診率(平成30年度～令和4年度)



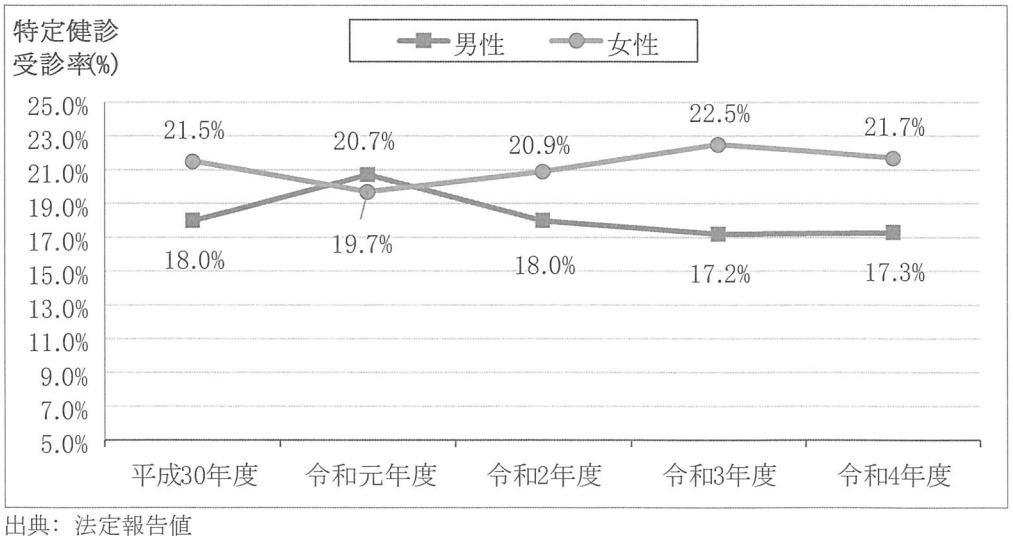
出典: 法定報告値

図表90. 年度別 男女 45歳～49歳特定健康診査受診率(平成30年度～令和4年度)



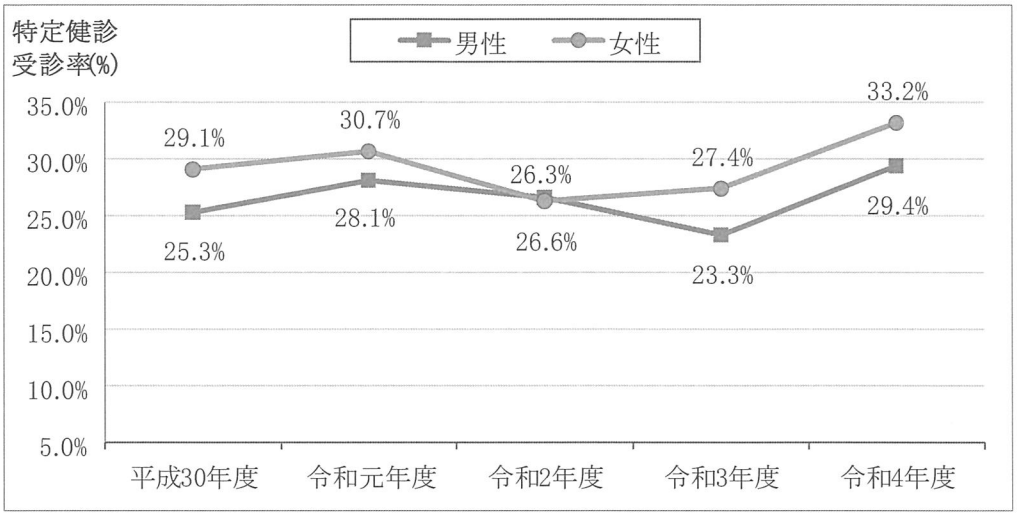
出典: 法定報告値

図表91. 年度別 男女 50歳～54歳特定健康診査受診率(平成30年度～令和4年度)



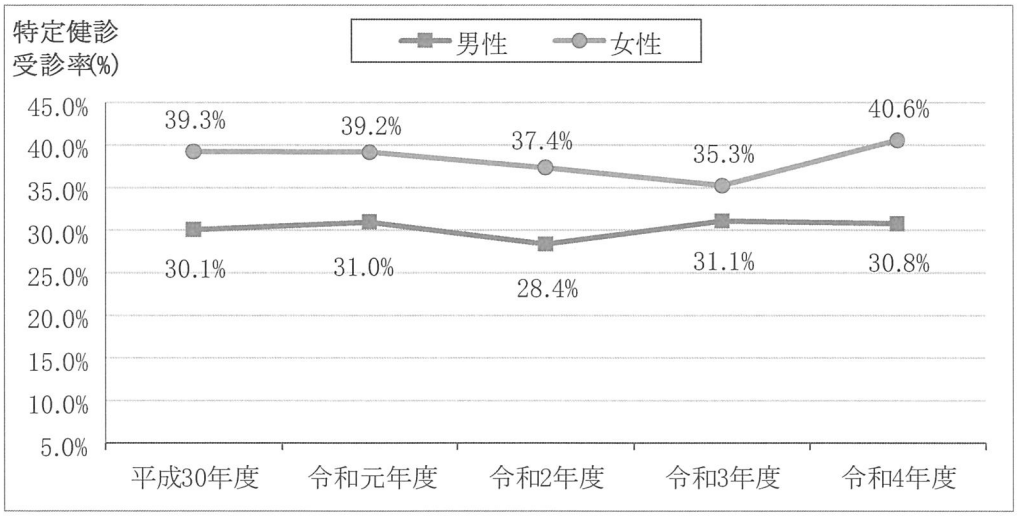
出典: 法定報告値

図表92. 年度別 男女 55歳～59歳特定健康診査受診率(平成30年度～令和4年度)



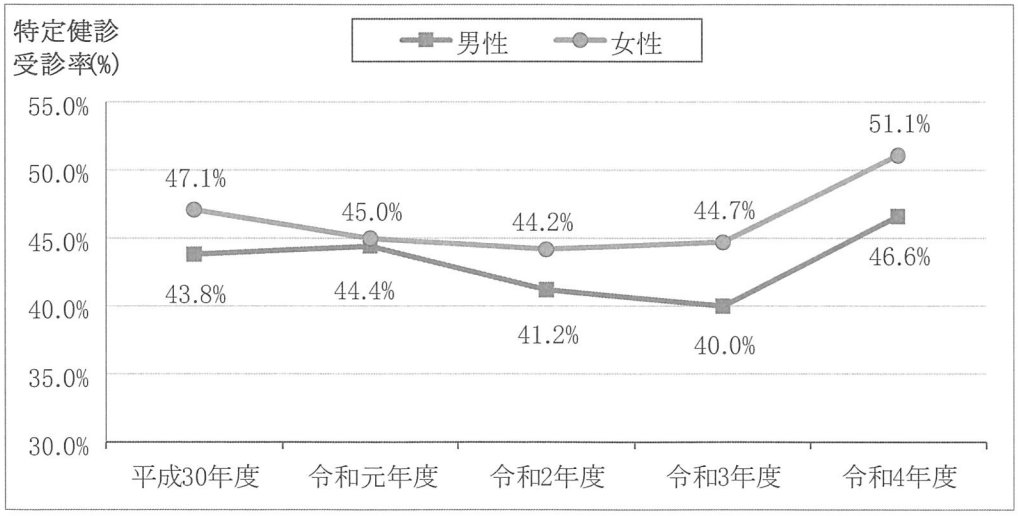
出典: 法定報告値

図表93. 年度別 男女 60歳～64歳特定健康診査受診率(平成30年度～令和4年度)



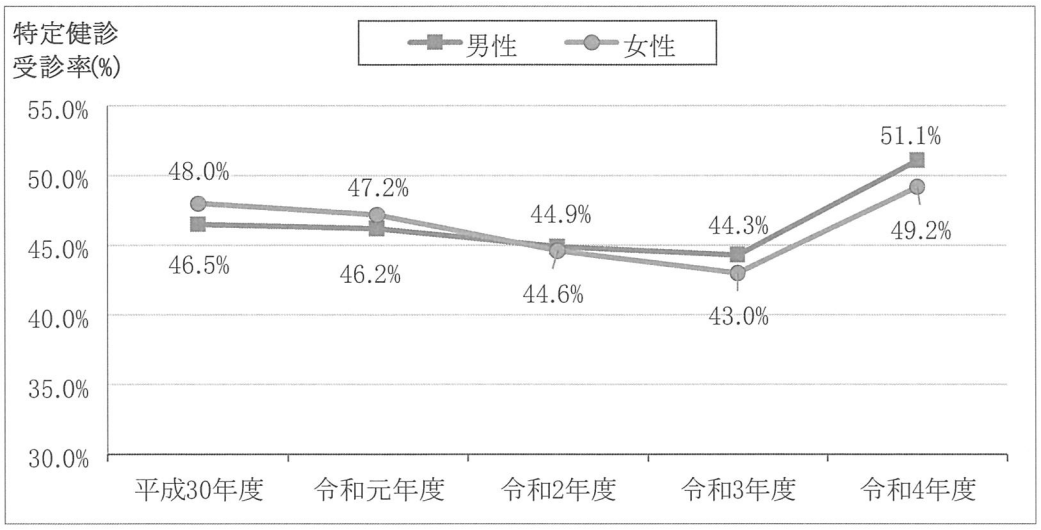
出典: 法定報告値

図表94. 年度別 男女 65歳～69歳特定健康診査受診率(平成30年度～令和4年度)



出典: 法定報告値

図表95. 年度別 男女 70歳～74歳特定健康診査受診率（平成30年度～令和4年度）



出典：法定報告値

(2)メタボリックシンドローム該当状況

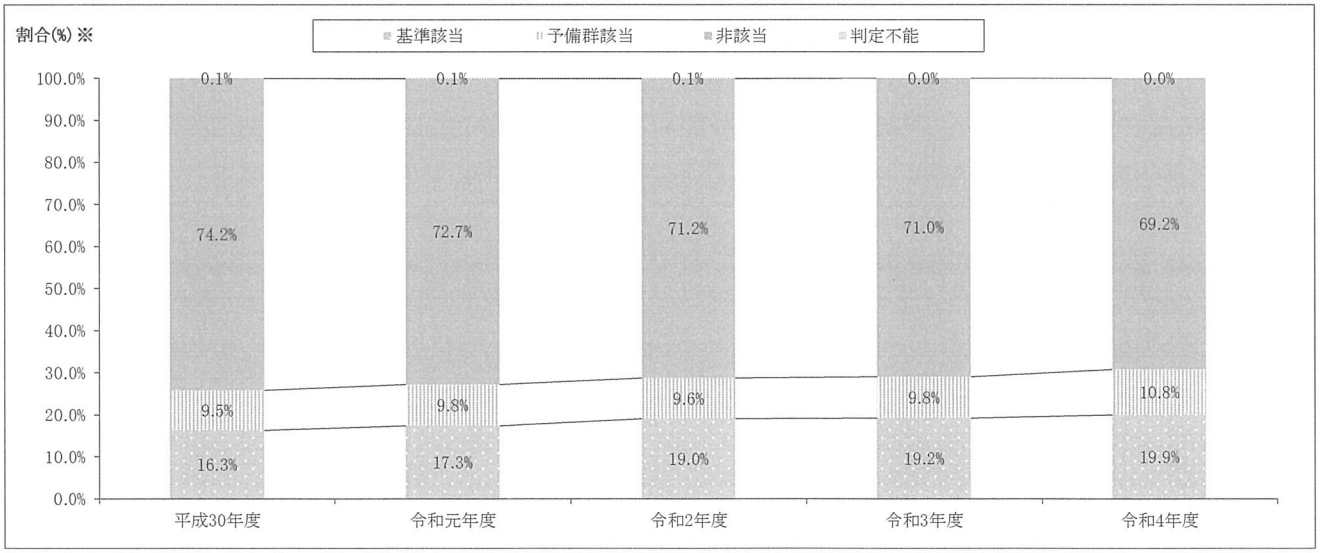
以下は、平成30年度から令和4年度における、特定健康診査受診者のメタボリックシンドローム該当状況を年度別に示したものです。令和4年度を平成30年度と比較すると、基準該当は平成30年度より3.6ポイント増加しており、予備群該当は平成30年度より1.3ポイント増加しています。

図表96.メタボリックシンドローム該当状況(平成30年度～令和4年度)

年度	健診受診者数(人)
平成30年度	6,452
令和元年度	6,434
令和2年度	6,178
令和3年度	6,060
令和4年度	6,721

年度	基準該当		予備群該当		非該当		判定不能	
	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※
平成30年度	1,052	16.3%	611	9.5%	4,785	74.2%	4	0.1%
令和元年度	1,116	17.3%	633	9.8%	4,676	72.7%	9	0.1%
令和2年度	1,176	19.0%	596	9.6%	4,400	71.2%	6	0.1%
令和3年度	1,162	19.2%	596	9.8%	4,301	71.0%	1	0.0%
令和4年度	1,340	19.9%	727	10.8%	4,653	69.2%	1	0.0%

図表97.メタボリックシンドローム該当状況(平成30年度～令和4年度)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和5年3月健診分(60カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

(3)有所見者割合

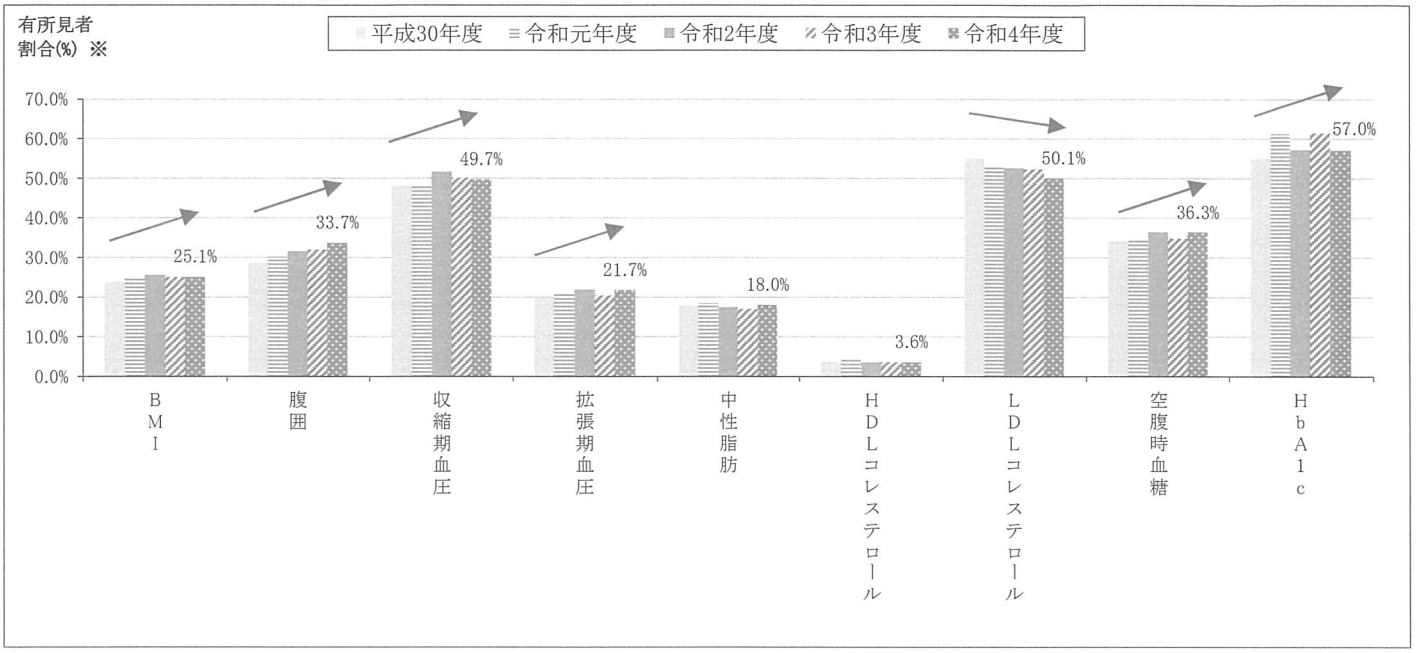
以下は、平成30年度から令和4年度における、特定健康診査受診者の有所見者割合を年度別に示したものです。

図表98.有所見者割合(平成30年度～令和4年度)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
BMI	対象者数(人) ※	6,452	6,434	6,178	6,060	6,721
	有所見者数(人) ※	1,533	1,617	1,579	1,515	1,686
	有所見者割合(%) ※	23.8%	25.1%	25.6%	25.0%	25.1%
腹囲	対象者数(人) ※	6,450	6,434	6,178	6,060	6,721
	有所見者数(人) ※	1,847	1,938	1,948	1,938	2,263
	有所見者割合(%) ※	28.6%	30.1%	31.5%	32.0%	33.7%
収縮期血圧	対象者数(人) ※	6,452	6,434	6,178	6,060	6,721
	有所見者数(人) ※	3,093	3,098	3,189	3,034	3,339
	有所見者割合(%) ※	47.9%	48.2%	51.6%	50.1%	49.7%
拡張期血圧	対象者数(人) ※	6,452	6,434	6,178	6,060	6,721
	有所見者数(人) ※	1,271	1,335	1,349	1,235	1,461
	有所見者割合(%) ※	19.7%	20.7%	21.8%	20.4%	21.7%
中性脂肪	対象者数(人) ※	6,452	6,434	6,178	6,060	6,721
	有所見者数(人) ※	1,150	1,187	1,072	1,027	1,209
	有所見者割合(%) ※	17.8%	18.4%	17.4%	16.9%	18.0%
HDLコレステロール	対象者数(人) ※	6,452	6,434	6,178	6,060	6,721
	有所見者数(人) ※	236	269	221	216	240
	有所見者割合(%) ※	3.7%	4.2%	3.6%	3.6%	3.6%
LDLコレステロール	対象者数(人) ※	6,449	6,434	6,175	6,058	6,721
	有所見者数(人) ※	3,547	3,405	3,248	3,171	3,364
	有所見者割合(%) ※	55.0%	52.9%	52.6%	52.3%	50.1%
空腹時血糖	対象者数(人) ※	5,307	5,301	5,068	5,034	5,599
	有所見者数(人) ※	1,805	1,840	1,841	1,750	2,034
	有所見者割合(%) ※	34.0%	34.7%	36.3%	34.8%	36.3%
HbA1c	対象者数(人) ※	6,448	6,433	6,174	6,057	6,719
	有所見者数(人) ※	3,543	3,940	3,529	3,718	3,831
	有所見者割合(%) ※	54.9%	61.2%	57.2%	61.4%	57.0%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和5年3月健診分(60カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※対象者数　…健診検査値が記録されている人数。
※有所見者数　…保健指導判定値を超えている人数。
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値
BMI:25以上、　腹囲:男性85cm以上、　女性90cm以上、
収縮期血圧:130mmHg以上、　拡張期血圧:85mmHg以上、
中性脂肪:150mg/dl以上、　HDLコレステロール：39mg/dl以下、　LDLコレステロール:120mg/dl以上、
空腹時血糖値:100mg/dl以上、　HbA1c:5.6%以上

図表99. 有所見者割合(平成30年度～令和4年度)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和5年3月健診分(60カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値
BMI:25以上、腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、
収縮期血圧:130mmHg以上、拡張期血圧:85mmHg以上、
中性脂肪:150mg/dl以上、HDLコレステロール：39mg/dl以下、LDLコレステロール:120mg/dl以上、
空腹時血糖値:100mg/dl以上、HbA1c:5.6%以上

(4)質問別回答状況

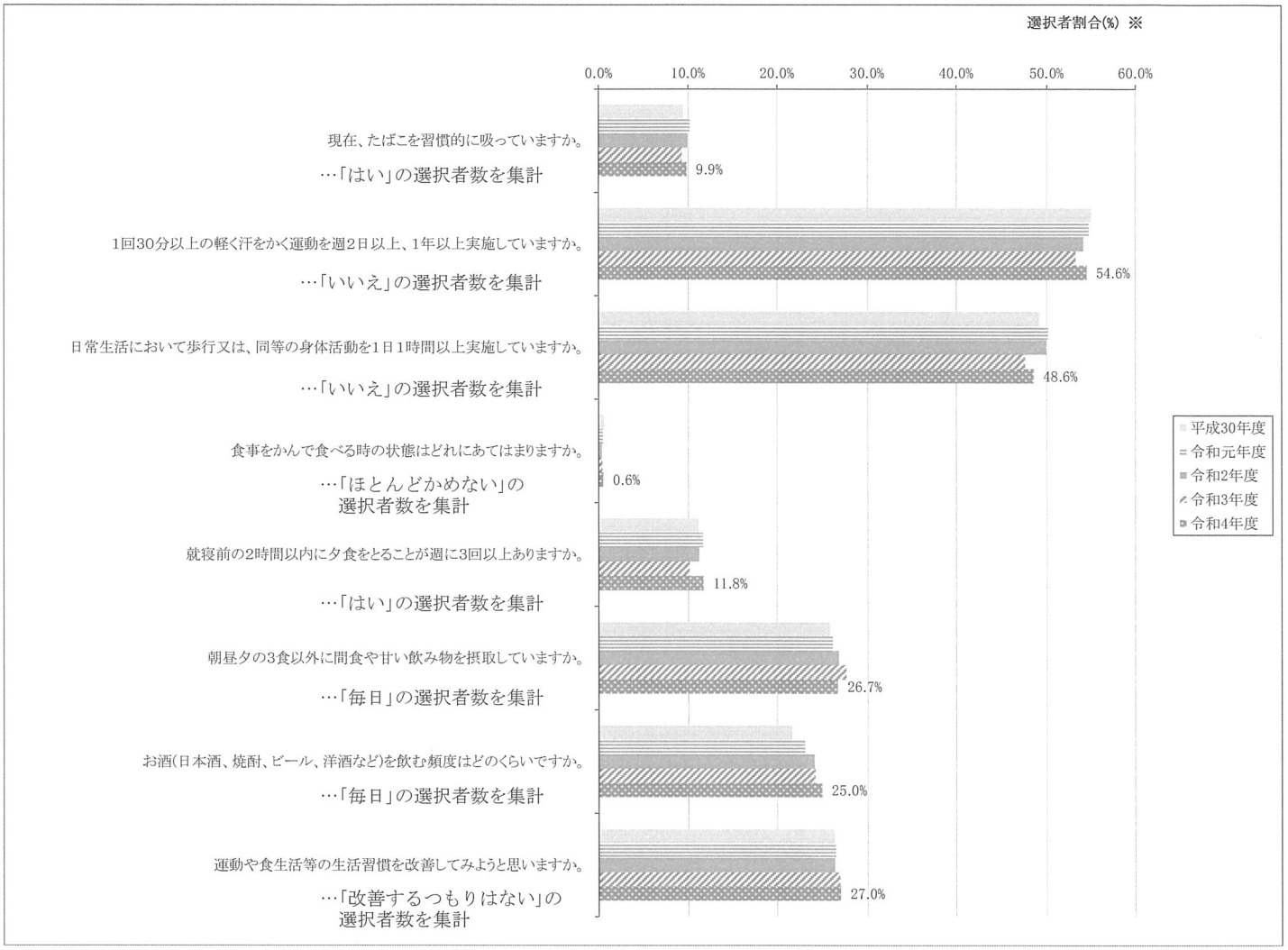
以下は、平成30年度から令和4年度における、特定健康診査の喫煙・運動・口腔機能・食習慣・飲酒・生活習慣の改善に関する各質問において、対応の考慮が必要な選択肢を選択した者の割合を年度別に示したものです。

図表100. 対応の考慮が必要な選択肢の選択状況(平成30年度～令和4年度)

類型名	質問文	質問の選択肢		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
喫煙	現在、たばこを習慣的に吸っていますか。	「はい」	質問回答者数(人) ※	6,452	6,434	6,178	6,060	6,721
			選択者数(人) ※	611	659	617	566	666
			選択者割合(%) ※	9.5%	10.2%	10.0%	9.3%	9.9%
運動	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか。	「いいえ」	質問回答者数(人) ※	6,274	6,233	5,993	5,909	6,571
			選択者数(人) ※	3,455	3,415	3,247	3,150	3,585
			選択者割合(%) ※	55.1%	54.8%	54.2%	53.3%	54.6%
	日常生活において歩行又は、同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか。	「いいえ」	質問回答者数(人) ※	6,265	6,227	5,977	5,895	6,571
			選択者数(人) ※	3,084	3,127	2,991	2,811	3,194
			選択者割合(%) ※	49.2%	50.2%	50.0%	47.7%	48.6%
口腔機能	食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。	「ほとんどかめない」	質問回答者数(人) ※	6,259	6,183	5,954	5,865	6,531
			選択者数(人) ※	39	33	25	26	36
			選択者割合(%) ※	0.6%	0.5%	0.4%	0.4%	0.6%
食習慣	就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ありますか。	「はい」	質問回答者数(人) ※	6,299	6,249	6,007	5,914	6,575
			選択者数(人) ※	706	732	678	604	776
			選択者割合(%) ※	11.2%	11.7%	11.3%	10.2%	11.8%
	朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。	「毎日」	質問回答者数(人) ※	6,307	6,237	5,958	5,917	6,585
			選択者数(人) ※	1,631	1,635	1,601	1,639	1,760
			選択者割合(%) ※	25.9%	26.2%	26.9%	27.7%	26.7%
飲酒	お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度はどのくらいですか。	「毎日」	質問回答者数(人) ※	6,435	6,355	6,095	6,012	6,682
			選択者数(人) ※	1,396	1,467	1,474	1,458	1,671
			選択者割合(%) ※	21.7%	23.1%	24.2%	24.3%	25.0%
生活習慣の改善	運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。	「改善するつもりはない」	質問回答者数(人) ※	6,115	6,092	5,869	5,815	6,485
			選択者数(人) ※	1,614	1,615	1,551	1,569	1,754
			選択者割合(%) ※	26.4%	26.5%	26.4%	27.0%	27.0%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和5年3月健診分(60カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※質問回答者数…質問に回答した人数。
※選択者数　…該当の選択肢を選択した人数。
※選択者割合　…質問回答者のうち、該当の選択肢を選択した人の割合。

図表101. 対応の考慮が必要な選択肢の選択者割合(平成30年度～令和4年度)



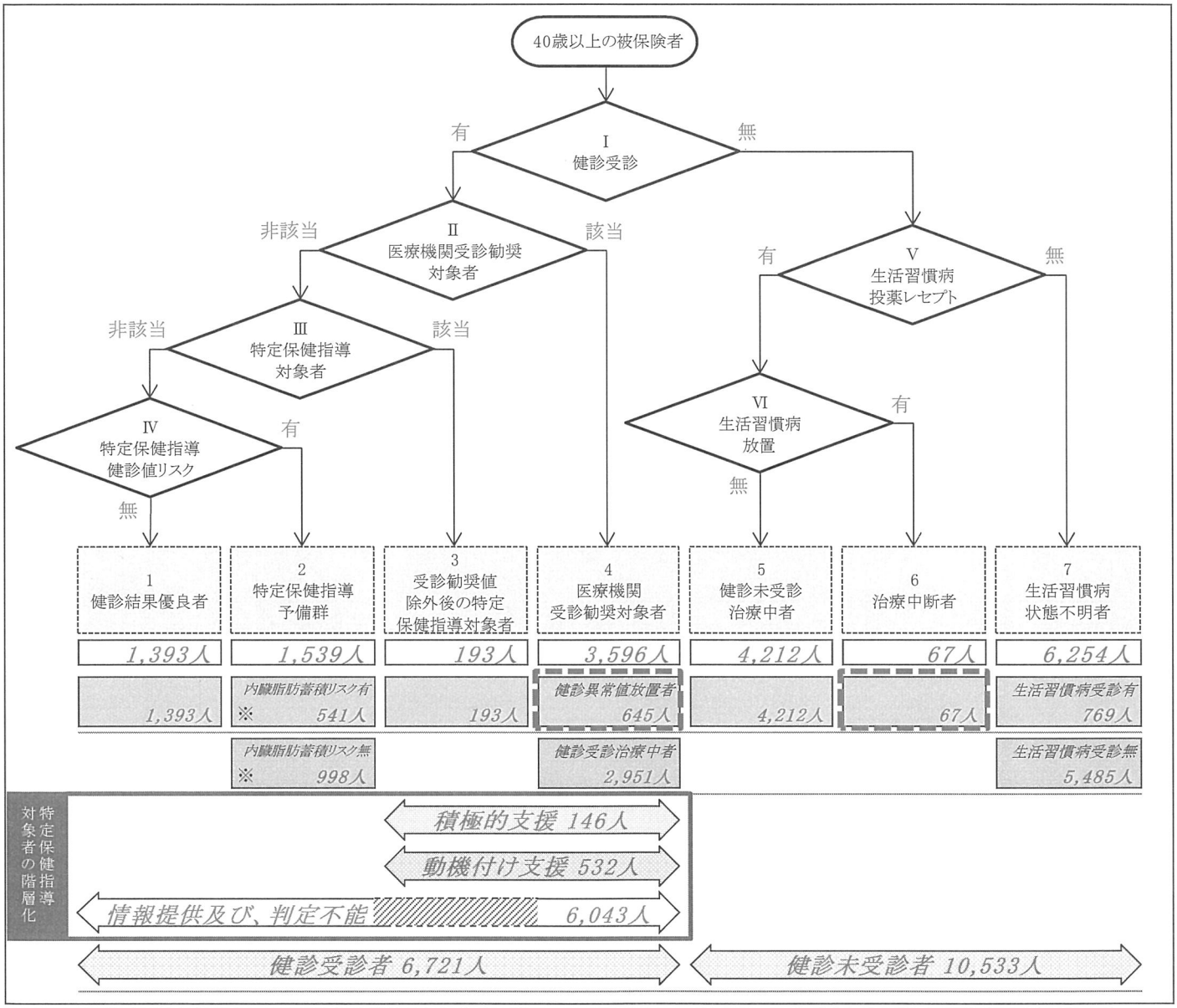
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和5年3月健診分(60カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。

4. 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類し、分析結果を以下に示します。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループです。

図表102. 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析（令和4年度）



データ化範囲（分析対象）…入院（DPCを含む）、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分（12カ月分）。
データ化範囲（分析対象）…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分（12カ月分）。
資格確認日…令和5年3月31日時点。
各フローの詳細については巻末資料「1.「指導対象者群分析」のグループ分けの見方」を参照。
※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階級化。

5. 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

国は、健康日本21(第二次)において、糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数の減少等を数値目標として掲げ、全国的な取り組みの強化を進めています。生活習慣を起因とした糖尿病性腎症患者に対し、生活習慣の改善を促し重症化を予防することで人工透析への移行を防止し、患者のQOLの維持及び医療費の適正化を図ることが本事業の目的です。

人工透析患者の実態

「透析」は傷病名ではないため、「透析」に当たる診療行為が行われている患者を特定し、集計しました。

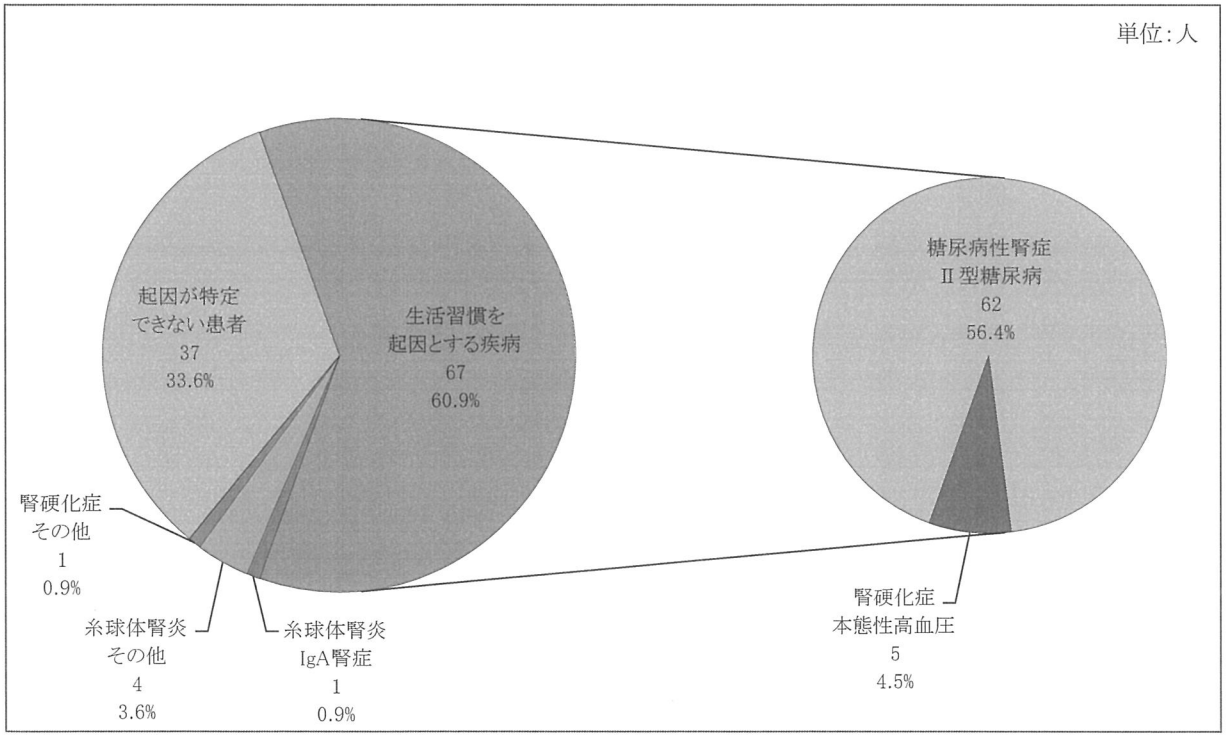
分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、60.9%が生活習慣を起因とするものであり、56.4%がⅡ型糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かりました。

図表103. 対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数(令和4年度)

透析療法の種類	透析患者数(人)
血液透析のみ	107
腹膜透析のみ	1
血液透析及び腹膜透析	2
透析患者合計	110

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)期間内に「血液透析」もしくは「腹膜透析」の診療行為がある患者を対象に集計。
現時点で資格喪失している被保険者についても集計します。緊急透析と思われる患者は除きます。

図表104. 透析患者の起因(令和4年度)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)期間内に「血液透析」もしくは「腹膜透析」の診療行為がある患者を対象に集計。
現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除きます。
※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

6. 長期多剤服薬者に係る分析

医薬品の多剤服薬は、薬の飲み忘れ、飲み間違い等の服薬過誤や、副作用等の薬物有害事象発生につながりやすく、薬物有害事象の発生リスクは6種類以上の服薬で特に高まるとされています。高齢者に起こりやすい副作用にはふらつき・転倒、物忘れ、うつ、せん妄、食欲低下、便秘、排尿障害等があり、複数疾病を有する高齢者においては特に注意が必要です。

本分析では、服薬状況を把握し適切な服薬を促すことを目的に、対象となる患者の特定を行います。複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されている対象者のうち、基準月(令和5年3月)に6種類以上の内服薬を服用している長期多剤服薬者は1,456人です。

図表105. 薬剤種類数別長期服薬者数

年齢階層		対象者数(人)								
		～ 39歳	40歳 ～ 44歳	45歳 ～ 49歳	50歳 ～ 54歳	55歳 ～ 59歳	60歳 ～ 64歳	65歳 ～ 69歳	70歳 ～	合計
被保険者数(人)		4,071	838	1,106	1,250	1,172	1,790	4,003	7,095	21,325
薬剤種類数	2種類	32	5	4	8	7	23	53	105	237
	3種類	29	9	12	9	14	25	97	183	378
	4種類	17	14	8	14	19	23	102	230	427
	5種類	25	10	16	18	11	29	93	203	405
	6種類	7	7	8	12	6	29	76	162	307
	7種類	6	7	8	11	8	21	87	159	307
	8種類	6	2	10	9	6	16	52	128	229
	9種類	3	1	3	8	11	4	43	81	154
	10種類	2	6	4	4	5	13	30	75	139
	11種類	4	4	1	5	2	11	17	52	96
	12種類	1	2	3	7	4	7	16	26	66
	13種類	2	0	0	3	4	6	6	25	46
	14種類	1	2	1	3	1	7	9	15	39
	15種類	5	2	1	1	1	2	7	4	23
	16種類	1	0	0	3	1	2	3	1	11
	17種類	0	0	0	2	2	1	1	8	14
	18種類	0	0	1	0	1	2	5	1	10
	19種類	0	1	0	0	0	0	0	2	3
	20種類	1	1	0	0	1	0	3	0	6
	21種類以上	1	0	0	1	1	1	2	0	6
	合計	143	73	80	118	105	222	702	1,460	2,903

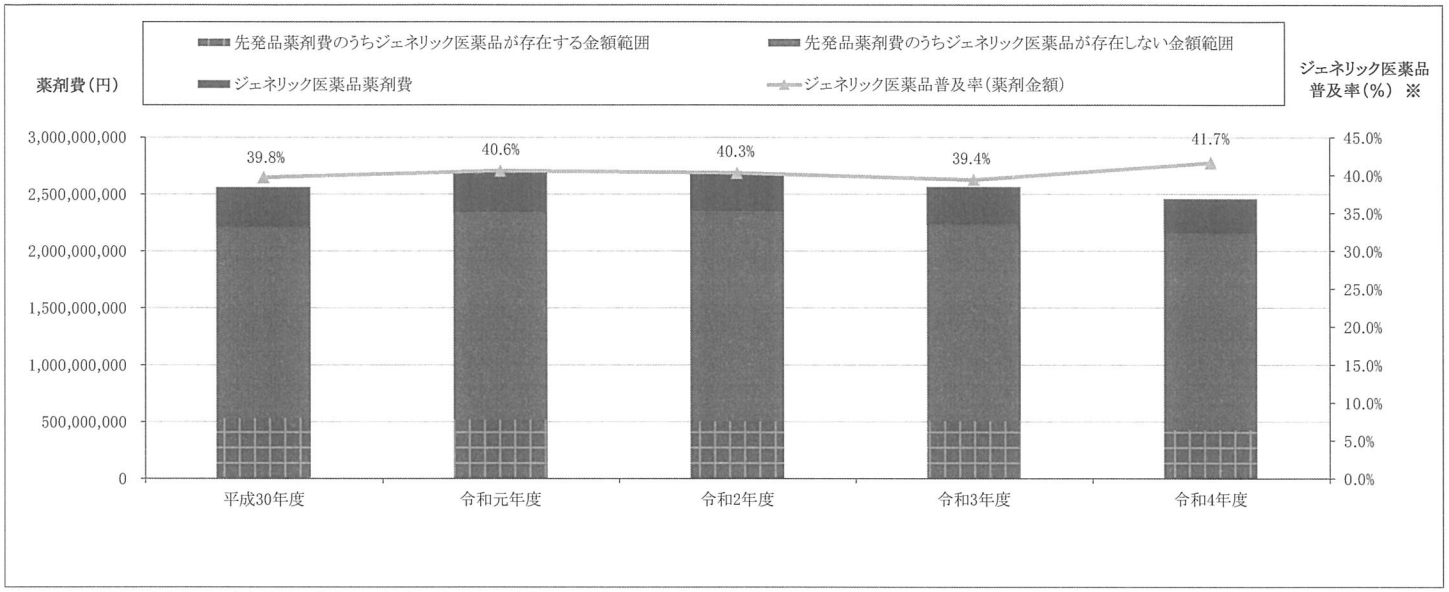
長期多剤服薬者数(人)※	1,456

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年12月～令和5年3月診療分(4カ月分)。
一時的に服用した医薬品を除くため、処方日数が14日以上の医薬品を対象としている。複数医療機関から処方された内服薬のうち、基準月(分析期間最終月)に服用している長期処方薬の種類数を集計する。基準月の服用状況については、基準月に処方された薬剤と基準月以前に処方された長期処方薬を調剤日と処方日数から判定している。
※長期多剤服薬者数…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されており、その長期処方の内服薬が6種類以上の人数。
参考資料:日本老年医学会「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015」

7. ジェネリック医薬品普及率に係る分析

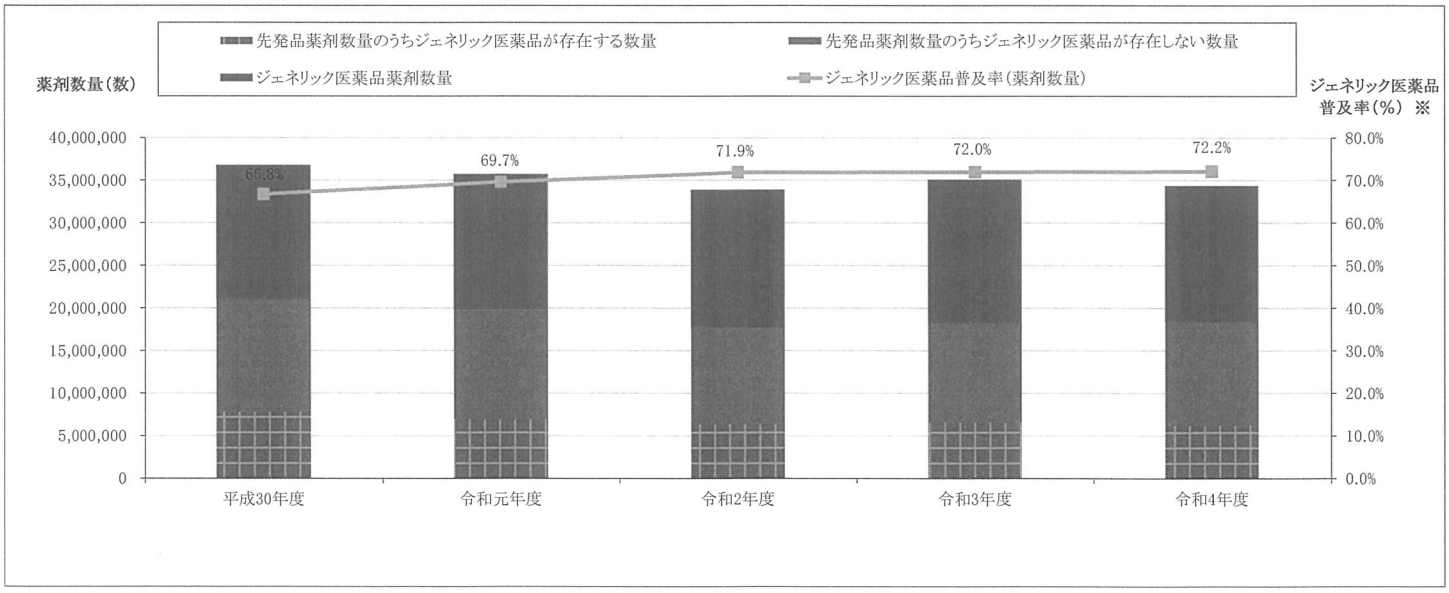
以下は、平成30年度から令和4年度における、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を年度別に示したものです。令和4年度を平成30年度と比較すると、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)は、平成30年度より1.9ポイント増加しており、ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)は、平成30年度より5.4ポイント増加しています。

図表106. ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)(平成30年度～令和4年度)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成30年4月～令和5年3月診療分(60カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としています。
※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

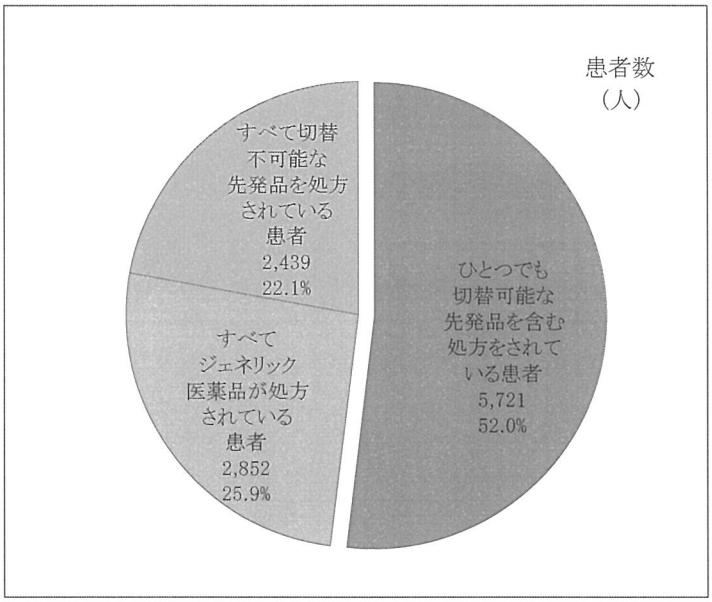
図表107. ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)(平成30年度～令和4年度)



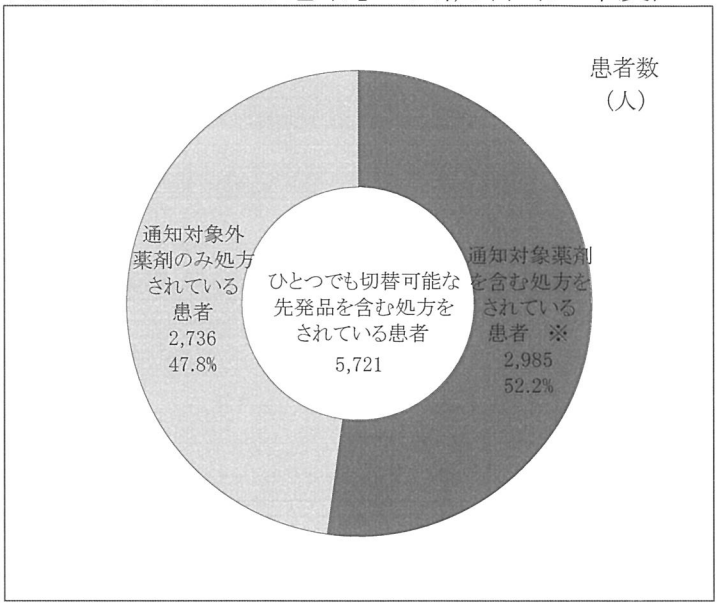
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成30年4月～令和5年3月診療分(60カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としています。
※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

令和5年3月診療分のレセプトで薬剤処方状況別の患者数を以下に示します。患者数は11,012人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は5,721人で患者数全体の52.0%を占めます。さらにこのうち株式会社データホライゾン基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、2,985人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、ひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者の52.2%を占めます。

図表108.
ジェネリック医薬品への切り替え
ポテンシャル(患者数ベース)(令和4年度)



図表109.
「ひとつでも切替可能な先発品を含む
処方をされている患者」の内訳(令和4年度)



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和5年3月診療分(1カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としています。
※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…株式会社データホライゾン通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方のものは含まない)。
※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

8. COPD早期発見を目的とする啓発事業に係る分析

COPD(慢性閉塞性肺疾患)は、主に長期の喫煙によってもたらされる肺の炎症性疾患で咳・痰・息切れ等の症状があり、緩徐に呼吸障害が進行する疾患です。世界的にみると、WHOファクトシート「死亡原因トップ10」において、COPDは2019年の世界死亡原因3位です。厚生労働省「令和3年人口動態統計」によると、日本のCOPDによる死亡者は2万人以上、うち男性は1万3千人以上で男性の死因順位第9位です。日本のたばこ消費量は近年減少傾向にあるが、過去の喫煙習慣による長期的な影響と急速な高齢化により、今後さらに罹患率、有病率、死亡率の増加が続くと予想されます。

(1)COPDの認知度及びCOPD患者の実態

COPDの認知度は、「どんな病気かよく知っている」人が13.8%、「名前は聞いたことがある」人が20.8%で合計34.6%と低く、厚生労働省は健康日本21(第二次)において令和4年度までに認知度を80%に向上させる目標を明らかにしています。また、日本におけるCOPDの治療を行っている患者は約26万1千人、それに対して潜在患者は530万人と推定されています。

認知度の低さから医療機関にかからないまま重症化しており、早期発見ができていない患者がいると推測されます。COPDの認知度を向上させるため、医療機関と連携し、ハイリスク者への医療機関受診勧奨を行い、早期発見を促す必要があります。

河内長野市国民健康保険の被保険者を対象に令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)で分析したところ、治療を行っている患者は127人です。日本における治療患者と潜在患者の比率を参考に、河内長野市国民健康保険被保険者に換算すると、潜在患者は2,540人程度と推定されます。

図表110. COPDの認知度状況

設問:あなたはCOPDという病気を知っていますか？		
どんな病気かよく知っている	1,380	13.8%
名前は聞いたことがある	2,081	20.8%
知らない	6,539	65.4%

出典:一般社団法人 GOLD(Global Initiative for Chronic Obstructive Lung Disease)日本委員会　調査
http://www.gold-jac.jp/copd_facts_in_japan/copd_degree_of_recognition.html(アクセス日:令和5年3月31日)
1万人を対象とした調査。(令和4年12月調査)

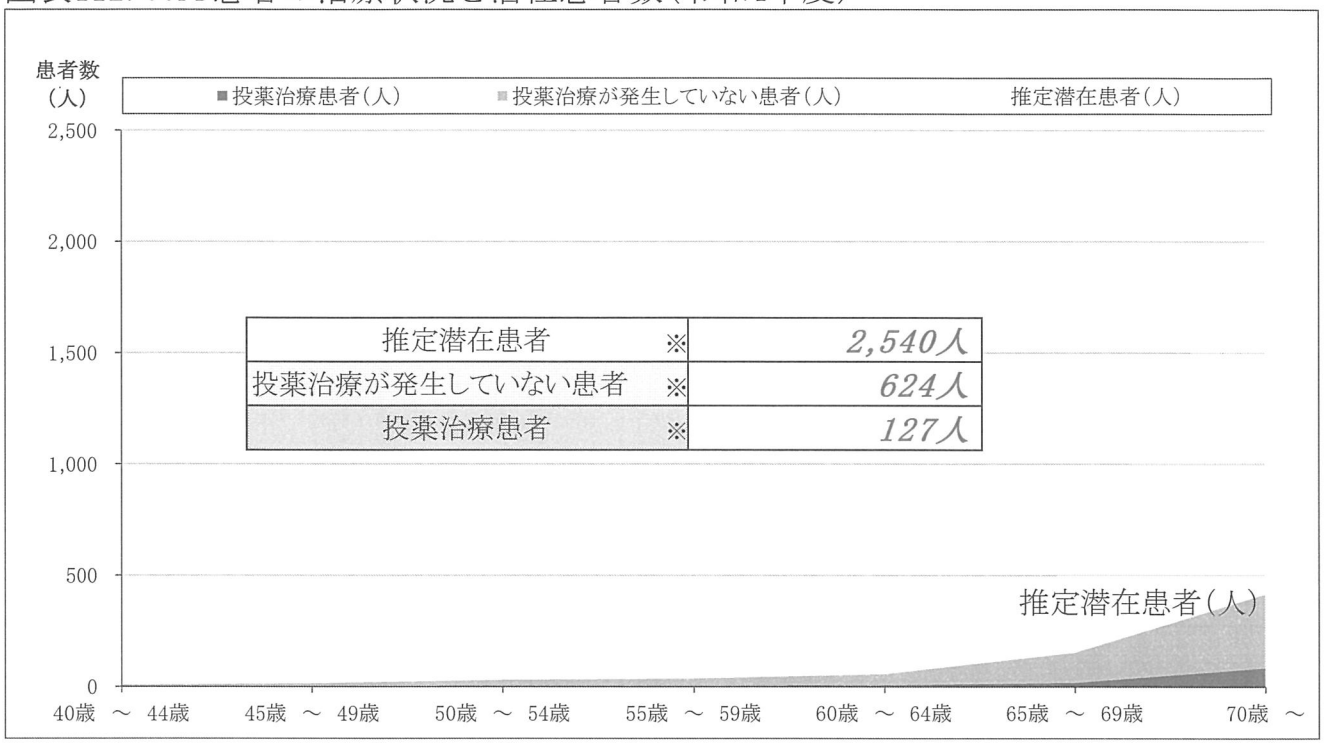
図表111. COPD患者の治療状況と潜在患者数(令和4年度)

対象範囲	治療患者数		潜在患者数
日本	26万1千人 ※	20倍	推定530万人 ※
河内長野市国民健康保険被保険者	127人 内訳:男性87人　(69%) 女性40人　(31%)	20倍	推定2,540人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としています。
薬物療法が発生している患者のみ分析対象とします。
参考資料
※治療患者数…平成26年患者調査(総患者数,性・年齢階級×傷病小分類別)
http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020103.do?_toGL08020103_&listID=000001141596(アクセス日:令和5年3月31日)
※潜在患者数…Fukuchi Y, et al, COPD in Japan: the Nippon COPD Epidemiology study, Respirology.2004Nov;9(4):458-65

以下のとおり、河内長野市国民健康保険におけるCOPD患者の年齢階級別「投薬治療患者」「投薬治療が発生していない患者」「推定潜在患者」を示します。

図表112.COPD患者の治療状況と潜在患者数(令和4年度)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としています。
※推定潜在患者…投薬治療患者の数に対し、日本の潜在患者数を参考に推定した患者数。
※投薬治療が発生していない患者…データ化範囲内において傷病名に慢性閉塞性肺疾患があるが投薬は確認できない患者数。
※投薬治療患者…データ化範囲内において傷病名に慢性閉塞性肺疾患があり、投薬も確認できる患者数。

(2)COPD患者の医療費と医療機関の現状

投薬治療患者127人と投薬が発生していない患者624人を合わせたCOPD患者全体751人の医療費を分析したところ、以下のとおりとなりました。12カ月間での患者一人当たりの医療費平均は101万円程度、このうちCOPD関連の医療費が4万円程度、COPD関連以外の医療費が97万円程度となり、COPD関連の医療費自体は高額ではないが、患者毎にみると、生活習慣病である糖尿病・高血圧・脂質異常等を併存している患者が多くなっています。

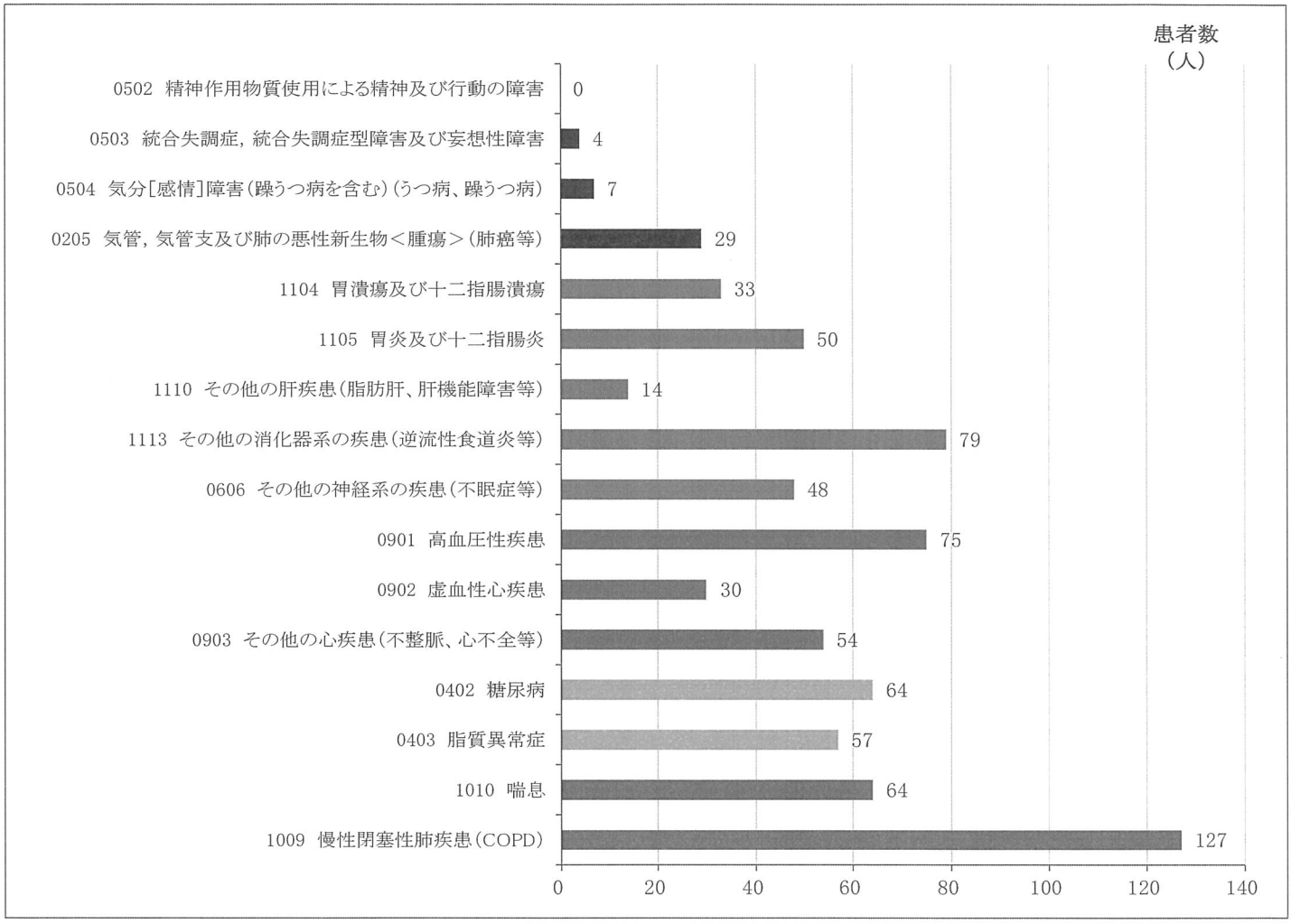
図表113.COPD患者全体の医療費平均(令和4年度)

	一人当たり医療費(円)
医療費合計	1,005,859
COPD関連	38,880
COPD関連以外	966,979

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としています。

COPD患者127人が併存している疾患を以下のとおり示します。COPD患者は高血圧・心疾患等の循環器系疾患や、糖尿病及び脂質異常等の生活習慣病を併存しています。また、肺がんは127人のうち22.8%の29人が併存しており、肺がん等の悪性新生物、うつ病・躁うつ病、統合失調症については、患者一人当たりの医療費が高額な疾病です。

図表114. COPD患者の併存疾患(令和4年度)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としています。
薬物療法が発生している患者のみ分析対象とします。

COPDの全身併存症		肺の合併症
●全身性炎症	●骨粗鬆症	●喘息
●骨格筋機能障害、サルコペニア、フレイル	●心血管疾患	●肺がん
●消化器疾患、GERD、嚥下障害	●不安、抑うつ、認知症	●気腫合併肺線維症
●代謝性疾患	●閉塞性睡眠時無呼吸	
●貧血		

出典:日本呼吸器学会COPDガイドライン第6版作成委員会
「COPD(慢性閉塞性肺疾患)診断と治療のためのガイドライン第6版2022」
ISBN:978-4-7792-2691-5

9. 要介護認定状況に係る分析

(1) 要介護度別被保険者数

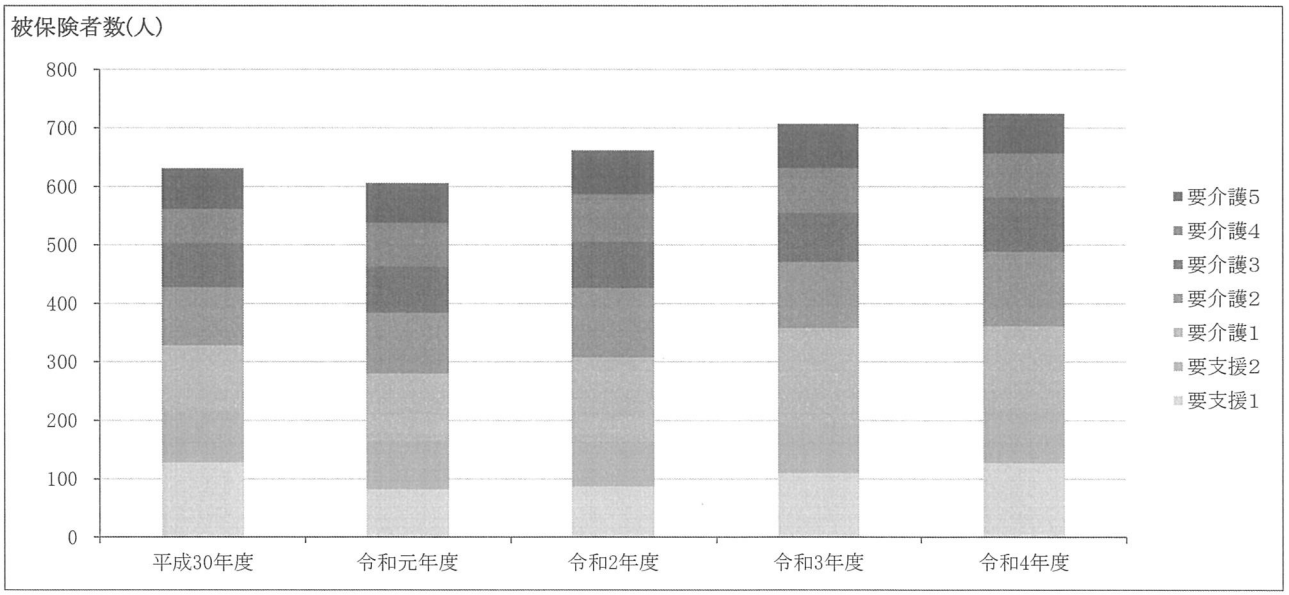
以下は、平成30年度から令和4年度における、要介護度別被保険者数を年度別に示したものです。

図表115. 要介護度別被保険者数(平成30年度～令和4年度)　　単位:人

要介護度			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
非該当			19,778	19,403	19,178	19,291	19,053
該当			631	606	662	707	725
	要支援	要支援1	128	82	87	110	127
		要支援2	87	86	75	89	91
	要介護	要介護1	113	112	146	159	143
		要介護2	100	104	118	113	128
		要介護3	75	79	79	84	93
		要介護4	59	75	82	77	75
		要介護5	69	68	75	75	68
合計			20,409	20,009	19,840	19,998	19,778

データ化範囲(分析対象)…介護データ。平成30年4月～令和5年3月分(60カ月分)。対象年齢は各年度末時点で40歳以上。
被保険者の資格情報は平成30年4月～令和5年3月分(60カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としています。
各年度、資格が確認できた最終年月の要介護度で集計しています。

図表116. 要介護度別被保険者数(平成30年度～令和4年度)



データ化範囲(分析対象)…介護データ。平成30年4月～令和5年3月分(60カ月分)。対象年齢は各年度末時点で40歳以上。
被保険者の資格情報は平成30年4月～令和5年3月分(60カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としています。
各年度、資格が確認できた最終年月の要介護度で集計しています。

(2)要介護度別医療費の状況

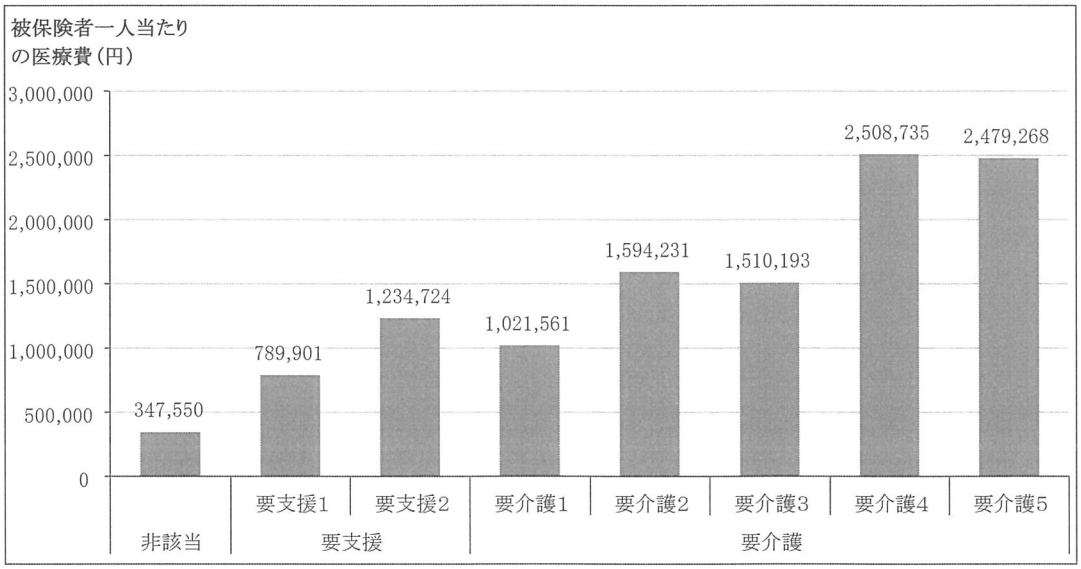
以下は、要介護度別医療費の状況について示したものです。

図表117. 要介護度別 医療費統計(令和4年度)

要介護度			被保険者数(人) ※	医療費(円) ※	患者数(人) ※	被保険者一人当たりの医療費(円)	患者一人当たりの医療費(円)
非該当			19,255	6,692,084,220	16,998	347,550	393,698
該当			848	1,328,179,480	873	1,566,249	1,521,397
	要支援	要支援1	170	134,283,160	177	789,901	758,662
		要支援2	128	158,044,660	131	1,234,724	1,206,448
	要介護	要介護1	188	192,053,450	194	1,021,561	989,966
		要介護2	154	245,511,500	153	1,594,231	1,604,650
		要介護3	112	169,141,650	115	1,510,193	1,470,797
		要介護4	92	230,803,660	95	2,508,735	2,429,512
		要介護5	80	198,341,400	83	2,479,268	2,389,655
不明				0	0		
合計			19,778	8,020,263,700	17,553	405,514	456,917

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としています。
※被保険者数…要介護度別延べ人数。各人が介護データの期間内に該当した全ての要介護度において、それぞれ一人として集計する(介護データの期間内で要介護認定者ではない年月が存在した場合、当該年月の要介護度を「非該当」とする。以下同じ。)。要介護度の変更により、一人の被保険者が複数の要介護度に該当する場合があるため、要介護度別の被保険者数の和は、被保険者数合計とは必ずしも一致しません。
※医療費…診療年月時点の要介護度で集計している。介護データの期間外に発生したレセプトの集計結果は「不明」に分類します。
※患者数…診療年月時点の要介護度で集計している。介護データの期間外に発生したレセプトの集計結果は「不明」に分類します。要介護度の変更により、一人の患者が複数の要介護度に該当する場合があるため、要介護度別の患者数の和は、患者数合計とは必ずしも一致しません。

図表118. 要介護度別 被保険者一人当たりの医療費(令和4年度)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としています。
診療年月時点の要介護度で集計しています。

(3)要介護度と疾病有病状況

①要介護度別上位10疾病

以下は、要介護度別の医療費上位10疾病を示したものです。

図表119. 要介護度別 医療費上位10疾病(令和4年度)

単位:円

要介護度		1位	2位	3位	4位	5位
非該当		0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1402 腎不全	0402 糖尿病	1113 その他の消化器系の疾患	0704 その他の眼及び付属器の疾患
		512,740,656	334,021,753	332,547,993	288,188,252	276,848,183
要支援	要支援1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1302 関節症	0906 脳梗塞	0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	0704 その他の眼及び付属器の疾患
		20,326,129	6,826,516	6,327,414	5,798,426	5,782,698
	要支援2	1402 腎不全	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	0404 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	1302 関節症	0903 その他の心疾患
		31,037,572	12,849,785	10,554,840	6,146,055	5,422,765
要介護	要介護1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	0606 その他の神経系の疾患	2220 その他の特殊目的用コード	1113 その他の消化器系の疾患	0601 パーキンソン病
		34,601,478	11,083,223	9,859,250	7,199,241	6,608,370
	要介護2	1402 腎不全	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1901 骨折	0601 パーキンソン病	2220 その他の特殊目的用コード
		29,290,741	24,518,640	14,182,404	13,489,861	11,350,277
	要介護3	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	0606 その他の神経系の疾患	0601 パーキンソン病	2220 その他の特殊目的用コード	0903 その他の心疾患
		13,704,888	13,199,406	11,095,050	10,085,590	9,817,225
	要介護4	2220 その他の特殊目的用コード	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1901 骨折	0905 脳内出血
		15,272,566	13,629,134	13,594,247	12,578,490	10,295,067
	要介護5	1011 その他の呼吸器系の疾患	0606 その他の神経系の疾患	0208 悪性リンパ腫	0905 脳内出血	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>
		22,915,161	20,098,682	13,111,472	11,682,422	11,555,491
全体		0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1402 腎不全	0402 糖尿病	1113 その他の消化器系の疾患	0903 その他の心疾患
		635,429,994	421,104,412	360,154,486	328,580,654	310,502,028

要介護度		6位	7位	8位	9位	10位
非該当		0903 その他の心疾患	0901 高血圧性疾患	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	0606 その他の神経系の疾患	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害
		269,782,096	251,313,218	206,046,394	205,314,048	198,303,205
要支援	要支援1	1901 骨折	0606 その他の神経系の疾患	0908 その他の脳血管疾患	0402 糖尿病	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害
		5,494,682	5,475,079	4,798,346	4,659,156	4,307,295
	要支援2	0606 その他の神経系の疾患	0601 パーキンソン病	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	1011 その他の呼吸器系の疾患	1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷
		4,899,280	4,457,401	4,414,027	4,345,327	3,963,456
要介護	要介護1	0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	0903 その他の心疾患	0906 脳梗塞	1901 骨折	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>
		6,329,446	5,821,835	5,462,075	5,370,758	4,740,895
	要介護2	1113 その他の消化器系の疾患	0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	0903 その他の心疾患	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	0905 脳内出血
		10,156,424	9,478,129	8,491,500	8,061,845	7,902,178
	要介護3	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	0906 脳梗塞	0905 脳内出血	1402 腎不全	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>
		6,840,311	6,450,031	6,346,125	5,556,139	5,243,568
	要介護4	1402 腎不全	0601 パーキンソン病	0603 てんかん	0912 その他の循環器系の疾患	0906 脳梗塞
		9,492,218	9,205,147	9,156,429	8,015,604	7,422,250
	要介護5	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	1402 腎不全	2220 その他の特殊目的用コード	0906 脳梗塞	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
		10,724,197	8,916,585	7,547,722	6,700,919	5,832,438
全体		0704 その他の眼及び付属器の疾患	0606 その他の神経系の疾患	0901 高血圧性疾患	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害
		290,843,618	270,889,568	268,295,863	239,926,630	212,120,994

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としています。
診療年月時点の要介護度で集計しています。全体は要介護度「不明」を集計に含みます。

以下は、要介護度別の患者数上位10疾病を示したものです。

図表120. 要介護度別 患者数上位10疾病(令和4年度)

単位:人

要介護度		1位	2位	3位	4位	5位
非該当		0901 高血圧性疾患	0703 屈折及び調節の障害	0704 その他の眼及び付属器の疾患	1113 その他の消化器系の疾患	0402 糖尿病
		7,117	6,652	6,507	6,219	6,215
要支援	要支援1	1113 その他の消化器系の疾患	0901 高血圧性疾患	0402 糖尿病	0704 その他の眼及び付属器の疾患	0606 その他の神経系の疾患
		116	99	94	81	79
	要支援2	0901 高血圧性疾患	1113 その他の消化器系の疾患	0402 糖尿病	0606 その他の神経系の疾患	1800 症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
		93	86	75	68	66
要介護	要介護1	1113 その他の消化器系の疾患	0901 高血圧性疾患	0606 その他の神経系の疾患	0903 その他の心疾患	1800 症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
		137	117	95	91	91
	要介護2	1113 その他の消化器系の疾患	0901 高血圧性疾患	0606 その他の神経系の疾患	1800 症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0402 糖尿病
		110	94	83	79	77
	要介護3	1113 その他の消化器系の疾患	0606 その他の神経系の疾患	0901 高血圧性疾患	1800 症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0402 糖尿病
		91	69	65	54	52
	要介護4	1113 その他の消化器系の疾患	1800 症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2220 その他の特殊目的用コード	0903 その他の心疾患	0606 その他の神経系の疾患
		83	57	56	44	42
	要介護5	1113 その他の消化器系の疾患	2220 その他の特殊目的用コード	1800 症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0606 その他の神経系の疾患	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患
		58	45	44	42	39
全体		0901 高血圧性疾患	0703 屈折及び調節の障害	0704 その他の眼及び付属器の疾患	1113 その他の消化器系の疾患	0402 糖尿病
		7,482	6,861	6,728	6,703	6,554

要介護度		6位	7位	8位	9位	10位
非該当		0403 脂質異常症	1800 症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0701 結膜炎	1105 胃炎及び十二指腸炎	0606 その他の神経系の疾患
		6,180	5,402	4,535	4,440	4,288
要支援	要支援1	1800 症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0703 屈折及び調節の障害	0403 脂質異常症	1105 胃炎及び十二指腸炎	1302 関節症
		78	77	69	62	60
	要支援2	0403 脂質異常症	0210 その他の悪性新生物＜腫瘍＞	0703 屈折及び調節の障害	0903 その他の心疾患	1309 骨の密度及び構造の障害
		62	50	50	48	47
要介護	要介護1	0402 糖尿病	0403 脂質異常症	2220 その他の特殊目的用コード	0404 その他の内分泌，栄養及び代謝疾患	0210 その他の悪性新生物＜腫瘍＞
		90	77	75	63	61
	要介護2	0403 脂質異常症	0210 その他の悪性新生物＜腫瘍＞	2220 その他の特殊目的用コード	0903 その他の心疾患	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患
		62	58	58	51	51
	要介護3	2220 その他の特殊目的用コード	0903 その他の心疾患	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	0403 脂質異常症	1202 皮膚炎及び湿疹
		50	47	43	41	37
	要介護4	0901 高血圧性疾患	0402 糖尿病	0210 その他の悪性新生物＜腫瘍＞	1011 その他の呼吸器系の疾患	1202 皮膚炎及び湿疹
		42	40	35	35	34
	要介護5	0903 その他の心疾患	1202 皮膚炎及び湿疹	0901 高血圧性疾患	1011 その他の呼吸器系の疾患	0402 糖尿病
		37	35	34	32	30
全体		0403 脂質異常症	1800 症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0701 結膜炎	1105 胃炎及び十二指腸炎	0606 その他の神経系の疾患
		6,435	5,753	4,679	4,651	4,628

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としています。
診療年月時点の要介護度で集計しています。全体は要介護度「不明」を集計に含ます。

以下は、要介護度別の患者一人当たりの医療費上位10疾病を示したものです。

図表121. 要介護度別 患者一人当たりの医療費上位10疾病(令和4年度)

単位:円

要介護度		1位	2位	3位	4位	5位
非該当		1402 腎不全	0208 悪性リンパ腫	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	0209 白血病
		648,586	575,010	458,384	311,722	311,663
要支援	要支援1	1402 腎不全	1904 中毒	0501 血管性及び詳細不明の認知症	0210 その他の悪性新生物＜腫瘍＞	0503 統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害
		569,474	485,316	441,588	414,819	358,941
	要支援2	1402 腎不全	1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	0206 乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	0601 パーキンソン病
		1,724,310	792,691	557,423	551,753	342,877
要介護	要介護1	0207 子宮の悪性新生物＜腫瘍＞	0210 その他の悪性新生物＜腫瘍＞	0206 乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	0601 パーキンソン病	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞
		1,582,362	567,237	526,766	508,336	471,687
	要介護2	1402 腎不全	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	0601 パーキンソン病	0205 気管，気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	0201 胃の悪性新生物＜腫瘍＞
		1,952,716	1,743,363	613,176	528,183	451,339
	要介護3	0205 気管，気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	1107 アルコール性肝疾患	1307 その他の脊柱障害	0601 パーキンソン病	0207 子宮の悪性新生物＜腫瘍＞
		1,522,765	992,385	756,951	616,392	594,551
	要介護4	0207 子宮の悪性新生物＜腫瘍＞	0904 くも膜下出血	1402 腎不全	0605 自律神経系の障害	0601 パーキンソン病
		2,691,284	1,685,033	1,356,031	954,553	836,832
	要介護5	0208 悪性リンパ腫	1402 腎不全	0909 動脈硬化(症)	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	1011 その他の呼吸器系の疾患
		6,555,736	1,273,798	785,984	742,627	716,099
全体		1402 腎不全	0208 悪性リンパ腫	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	0209 白血病
		749,296	598,866	372,115	354,428	295,408

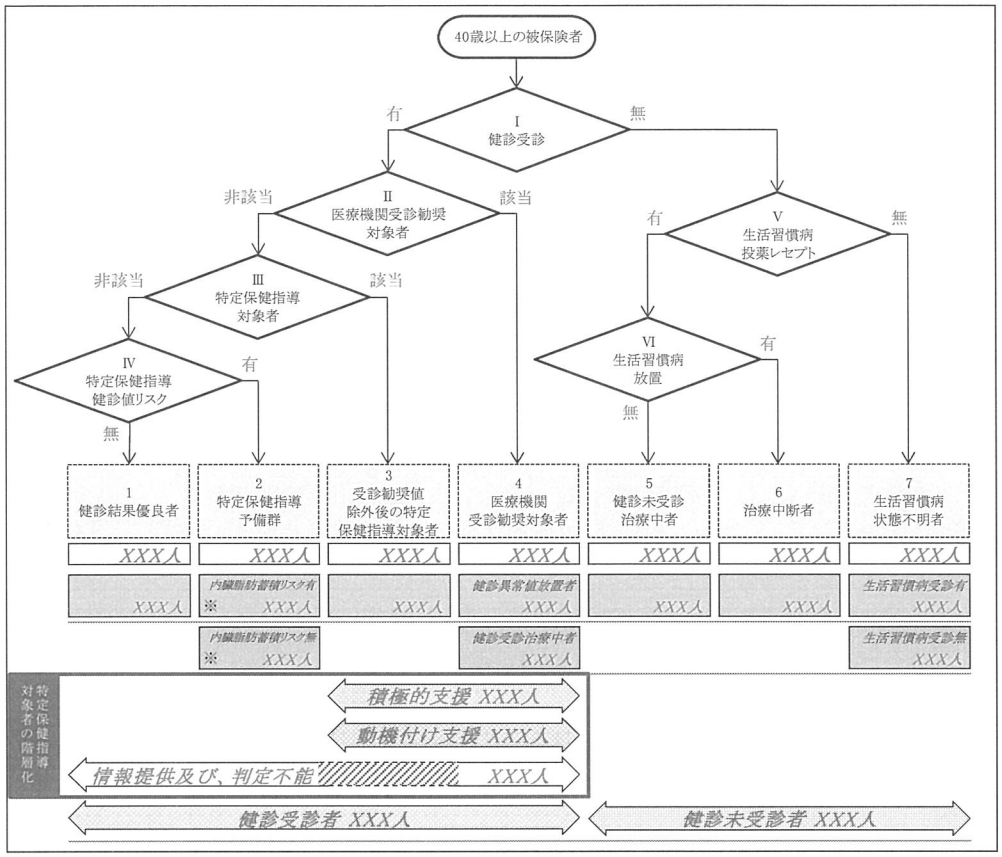
要介護度		6位	7位	8位	9位	10位
非該当		0503 統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	0205 気管，気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	0206 乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	0904 くも膜下出血	0210 その他の悪性新生物＜腫瘍＞
		304,146	258,204	211,329	155,997	143,344
要支援	要支援1	0201 胃の悪性新生物＜腫瘍＞	0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞	0908 その他の脳血管疾患	1901 骨折	0906 脳梗塞
		305,180	253,822	199,931	196,239	175,762
	要支援2	0404 その他の内分泌，栄養及び代謝疾患	0210 その他の悪性新生物＜腫瘍＞	0205 気管，気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	1901 骨折	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)
		263,871	256,996	213,120	159,871	151,541
要介護	要介護1	0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	0201 胃の悪性新生物＜腫瘍＞	1901 骨折	0905 脳内出血	0906 脳梗塞
		161,082	156,574	141,336	133,907	133,221
	要介護2	0905 脳内出血	0210 その他の悪性新生物＜腫瘍＞	1901 骨折	0909 動脈硬化(症)	1301 炎症性多発性関節障害
		439,010	422,735	373,221	279,474	266,015
	要介護3	1402 腎不全	0905 脳内出血	0909 動脈硬化(症)	1010 喘息	1901 骨折
		555,614	488,163	445,129	363,513	277,972
	要介護4	0905 脳内出血	0206 乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	1901 骨折	0205 気管，気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	0908 その他の脳血管疾患
		791,928	667,655	571,750	562,846	554,937
	要介護5	0210 その他の悪性新生物＜腫瘍＞	1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	0905 脳内出血	0904 くも膜下出血	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患
		679,735	630,570	614,864	607,901	536,210
全体		0503 統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	0205 気管，気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	0601 パーキンソン病	0905 脳内出血	0206 乳房の悪性新生物＜腫瘍＞
		278,740	278,015	264,185	261,674	232,972

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としています。
診療年月時点の要介護度で集計しています。全体は要介護度「不明」を集計に含みます。

巻末資料

1.「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

健康診査及びレセプトによる指導対象者群分析



【フロー説明】

Ⅰ健診受診	…健診受診の有無を判定。
Ⅱ医療機関受診勧奨対象者	…健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
Ⅲ特定保健指導対象者	…厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
Ⅳ特定保健指導健診値リスク	…厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めない。
Ⅴ生活習慣病投薬レセプト	…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
Ⅵ生活習慣病放置	…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

【グループ別説明】

健診受診あり

1.健診結果優良者	…保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
2.特定保健指導予備群	…保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
内臓脂肪蓄積リスク有	…「2.特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
内臓脂肪蓄積リスク無	…「2.特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
3.受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者	…受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
4.医療機関受診勧奨対象者	…受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。
健診異常値放置者	…「4.医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
健診受診治療中者	…「4.医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため医療機関受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。

健診受診なし

5.健診未受診治療中者	…生活習慣病治療中の者。
6.治療中断者	…過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
7.生活習慣病状態不明者	…生活習慣病の投薬治療をしていない者。
生活習慣病受診有	…「7.生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
生活習慣病受診無	…「7.生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

2. 用語解説集

用語		説明
か行	眼底検査	目の奥の状態を調べる検査。通常眼底写真にて検査する。 動脈硬化の程度、高血圧、糖尿病による眼の合併症や緑内障・白内障の有無などを調べるもの。
	血糖	血液内のブドウ糖の濃度。 食前・食後で変動する。低すぎると低血糖、高すぎると高血糖を引き起こす。
	クレアチニン	アミノ酸の一種であるクレアチンが代謝されたあとの老廃物。腎臓でろ過されて尿中に排泄される。 血清クレアチニンの値が高いと、老廃物の排泄機能としての腎臓の機能が低下していることを意味する。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	健康寿命	健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間。
	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施	高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細かな支援を実施するため、後期高齢者の保健事業について、 後期高齢者医療広域連合と市町村の連携内容を明示し、市町村において、介護保険の地域支援事業や国民健康保険の保健事業と一体的に実施するもの。
さ行	ジェネリック医薬品	後発医薬品のこと。先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版)準拠 疾病分類表」を使用。
	人工透析	機能が著しく低下した腎臓に代わり機械で老廃物を取り除くこと。1回につき4～5時間かかる治療を週3回程度、ずっと受け続ける必要があり、身体的にも時間的にも、大きな負担がかかる。
	心電図	心臓の筋肉に流れる電流を体表面から記録する検査。電流の流れ具合に異常がないかがわかる。 また1分間に電気が発生する回数である心拍数も測定される。
	生活習慣病	食事や運動、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣が深く関与し、それらが発症の要因となる疾患の総称。重篤な疾患の要因となる。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3カ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
た行	中性脂肪	肉や魚・食用油など食品中の脂質や、体脂肪の大部分を占める物質。単に脂肪とも呼ばれる。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導修了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
な行	尿酸	食べ物に含まれるプリン体という物質が肝臓で分解されてできる、体には必要のない老廃物。主に腎臓からの尿に交じって体外に排出される。

用語		説明
は行	標準化死亡比	標準化死亡比は、基準死亡率(人口10万対の死亡数)を対象地域に当てはめた場合に、 計算により求められる期待される死亡数と実際に観察された死亡数とを比較するものである。 我が国の平均を100としており、標準化死亡比が100以上の場合は我が国の平均より死亡率 が多いと判断され、100以下の場合は死亡率が低いと判断される。
	腹囲	へその高さで計る腰回りの大きさ。内臓脂肪の蓄積の目安とされ、メタボリックシンドロームを診断する指標のひとつ。
	フレイル	フレイルとは、健康な状態と要介護状態の中間の段階をさす。 年齢を重ねていくと、心身や社会性などの面でダメージを受けたときに回復できる力が低下し、これによって健康に過ごせていた状態から、生活を送るために支援を受けなければならない要介護状態に変化していく。
ま行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
や行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ら行	レセプト	診療報酬明細書の通称。
A～Z	AST/ALT	AST(GOTともいう)は、心臓、筋肉、肝臓に多く存在する酵素である。ALT(GPTともいう)は、肝臓に多く存在する酵素である。 数値が高い場合は急性肝炎、慢性肝炎、脂肪肝、肝臓がん、アルコール性肝炎などが疑われる。
	BMI	[体重(kg)]÷[身長(m)の2乗]で算出される値で、Body Mass Indexの略。肥満や低体重(やせ)の判定に用いる体格指数のこと。
	eGFR	腎臓機能を示す指標で、クレアチニン値を性別、年齢で補正して算出する。腎臓の中にある毛細血管の集合体である「糸球体」が1分間にどれくらいの血液を濾過して尿を作れるかを示す値。 数値が低いと腎臓の機能が低下していることを意味する。
	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	ICT	Information and Communications Technology(インフォメーションアンドコミュニケーションテクノロジー／情報通信技術)の略。コンピュータやデータ通信に関する技術をまとめた呼び方。 特定保健指導においてもその活用が推進されており、代表的なツールとしては、Web会議システムやスマートフォンアプリ、Webアプリ等が挙げられる。
	KDB	「国保データベース(KDB)システム」とは、国保保険者や後期高齢者医療広域連合における保健事業の計画の作成や実施を支援するため、健診・保健指導、医療、介護の各種データを併せて分析できるシステムのこと。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
	non-HDLコレステロール	総コレステロールからHDLコレステロールを減じたもの。数値が高いと、動脈硬化、脂質代謝異常、甲状腺機能低下症、家族性高脂血症などが疑われる。 低い場合は、栄養吸収障害、低βリポたんぱく血症、肝硬変などが疑われる。

3. 疾病分類

疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
Ⅰ. 感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頚管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	RSウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻痺後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
Ⅱ. 新生物＜腫瘍＞				
0201	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管，気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物＜腫瘍＞	子宮体癌	子宮頚癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	前立腺癌	膵癌	膀胱癌
0211	良性新生物＜腫瘍＞及びその他の新生物＜腫瘍＞	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
Ⅲ. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
Ⅳ. 内分泌，栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌，栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
Ⅴ. 精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分［感情］障害（躁うつ病を含む）	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害，ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害＜精神遅滞＞	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
Ⅵ. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Ｙａｈｒ３
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
Ⅶ. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
Ⅷ. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
Ⅸ. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頚動脈狭窄症	頚動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
Ⅹ. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎［かぜ］＜感冒＞	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
ＸＩ．消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第２度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変（アルコール性のものを除く）	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
ＸＩＩ．皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿痂疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
ＸＩＩＩ．筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頚椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頚椎椎間板ヘルニア
1305	頚腕症候群	頚肩腕症候群	頚肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頚部痛
1308	肩の傷害＜損傷＞	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
ＸＩＶ．腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性腟炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腟部びらん	細菌性腟炎	腟炎
ＸＶ．妊娠，分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠，分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
ＸＶＩ．周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	ＡＢＯ因子不適合
ＸＶⅡ．先天奇形，変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形，変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
ＸＶⅢ．症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
ＸＩＸ．損傷，中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頚部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第２度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
ＸＸＩ．健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカ植え込み後	人工股関節置換術後
ＸＸⅡ．特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群［SARS］	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		